

for Windows

丸建積算システム

基本操作ガイド (入門編)



令和02年 4月 第1版

株式会社 丸建技術

目次

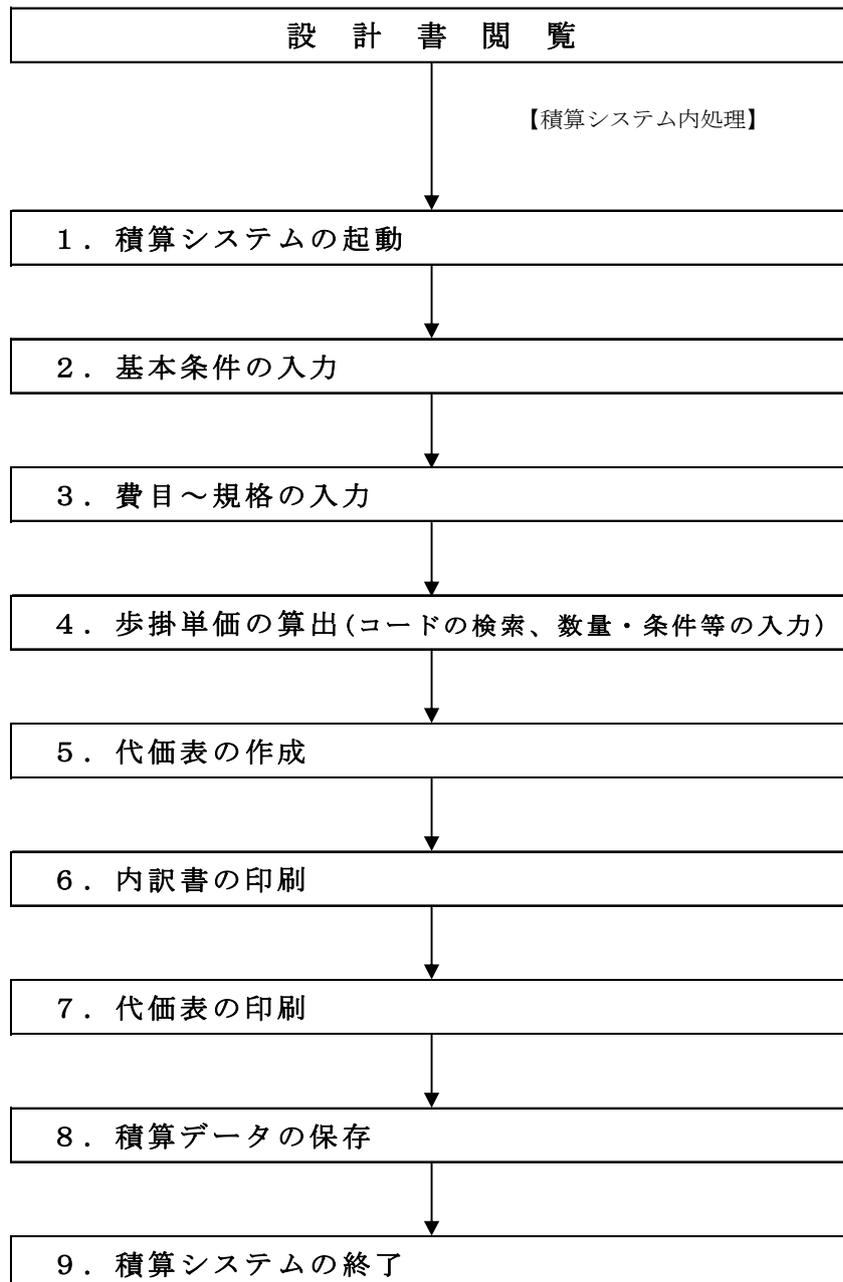
はじめに	1
1. システムの起動	5
2. 基本条件の入力	7
3. 「内訳表入力画面」の構成について	9
4. 費目～規格の入力	11
5. 歩掛単価の算出	16
5-1. 歩掛コードの検索	16
5-2. 歩掛の数量、条件入力	25
5-3. 名称・規格名の変更	29
6. 代価表作成	39
7. 直接工事費及び共通仮設費の入力	55
8. 登録材料単価使用方法	59
9. 単価チェック	61
10. 内訳表の印刷	62
11. 代価表の印刷	64
12. 積算データの保存	65
12-1. 新規保存（「名前を付けて保存（A）」）	65
12-2. 上書き保存	66
13. 積算データの読み込み	67
14. システムの終了	68
15. その他の機能	70
15-1. ヘルプ機能	70
15-2. 行の挿入削除	72
15-3. 行のコピー（複写）	73

目 次

1 5 - 4. 材料単価の登録	7 4
1 5 - 5. 隣接工事	7 5
1 5 - 6. 計算	7 7
1 5 - 6 - 1. 再計算	7 7
1 5 - 6 - 2. 逆計算	7 8
1 5 - 7. 代価表（多階層代価表）の作成	8 0
1 5 - 8. 変更積算の作成	8 4
1 5 - 9. 水替え日数算定	8 6
1 5 - 1 0. 最低価格シミュレーション	8 8
1 5 - 1 1. 工場製作工の入力方法	8 9
1 5 - 1 2. PDF 読込機能	9 0
1 5 - 1 3. エクセル読込機能	9 2
1 5 - 1 4. 代価表内諸雑費計上方法	9 3
1 5 - 1 5. デキスパート変換方法	9 4

この説明書は、はじめて弊社積算システムをご使用されるお客様を対象として、積算システムの基本的な操作の流れ及び操作方法に焦点を絞り、具体的な積算例を基に説明します。
基本的な操作の流れは以下のとおりです。

【操作の流れ】



それでは、以下の積算例で操作方法を説明します。今回「新02年度版：公共土木工事編」を使用します。また、この例題では熊本県の労務単価、材料単価、市場単価を使用して説明しますのでお客様のご利用されている環境で単価は異なる場合がございますのでご了承ください。

積算例 ○○河川災害復旧工事 内訳明細書

(積算体系；公共土木 [R02] 工種；河川工事 現場環境改善費；あり)

No.	費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
1	本工事費					
2	築堤・護岸					
3	土工					
4	掘削積込 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	m3	460			土工 → 機械掘削工 S19004
5	埋戻し 最大埋戻幅4m以上	m3	90			土工 → 埋め戻し工 S19054
6	土砂運搬 10tダンプトラック BH0.80m3積込 運搬距離2Km DID区間無 舗装路	m3	350			土工 → 機械運搬工 S19007
7	法覆工					
8	基礎コンクリート	m	40			別紙第1号表
9	電動式ハイロハマ打込 鋼矢板Ⅱ型 打込み3m	枚	100			仮設工 → 仮設ハイロハマ工 S12311
10	鋼矢板単価 長さエキストラ無し Ⅱ型Ⅱ L=3.0m	枚	100			仮設工 → 鋼材費 S10313 139,000円/t
11	コンクリートブロック積工 裏コン無し 標準ブロック	m ²	240			擁壁工 → 間知ブロック工(標準単価) S18154
12	擁壁工					
13	1号擁壁工 H=1.0 現場打小型擁壁	式	1			別紙第2号表
14	直接工事費					
15	共通仮設費					
16	運搬費					
17	重建設機械分解組立輸送費					
18	クローラクレーン油圧式50t吊	式	1			共通仮設積上→運搬費 S70001
	現場環境改善費	(%) 式	1			
	共通仮設費率分	式	1			
	純工事費					
	現場管理費 工種：河川工事					
	工事原価					
	一般管理費					
	契約保証費					
	工事価格					

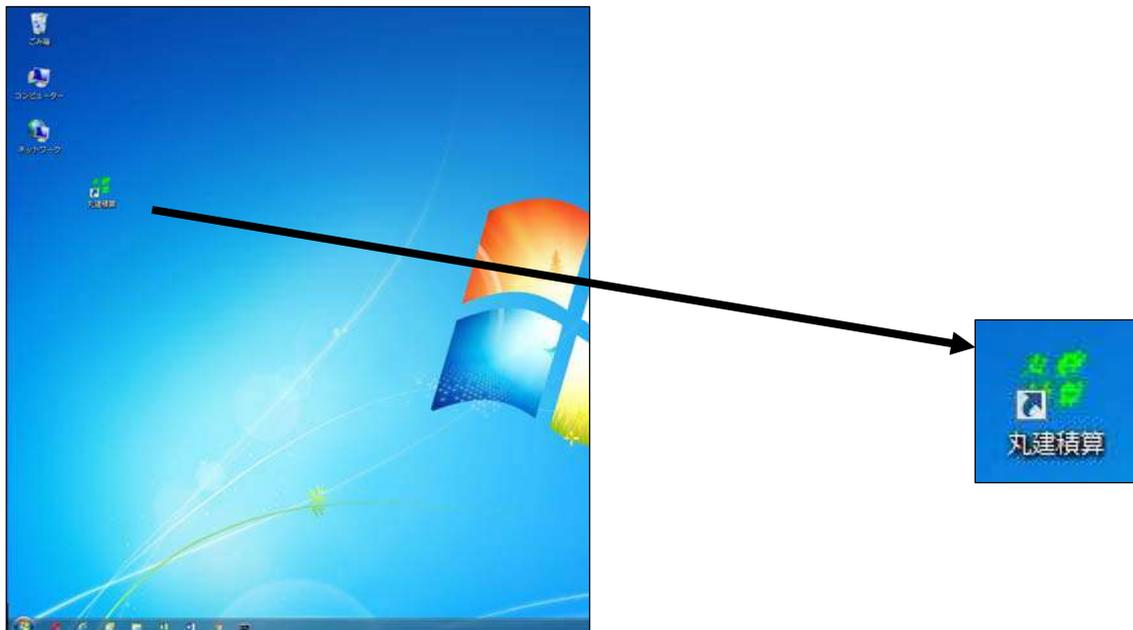
※ 適用欄には、歩掛コード選択時に使用する分類、工種が表示されております。

建設資材単価等「熊本県〇〇地区」

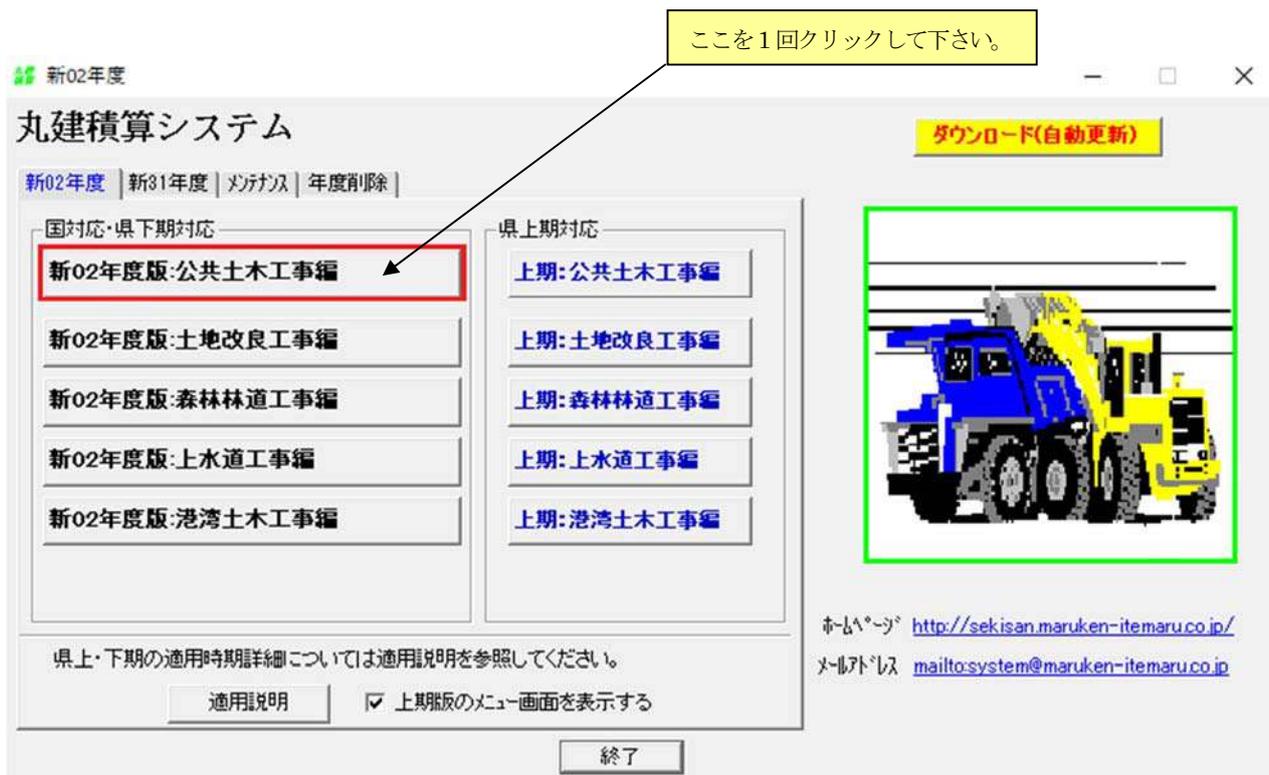
資材名	規格	単位	単価	備考
生コンクリート	高炉B 18-8-40	m3	14,300	
鋼矢板Ⅱ型	SY295	枚	20,000	139,000円/t*0.048 t *3m=20,000円
ブロック積み	手間のみ 昼間 制約無	m2	11,730	土木工事標準単価 ((財) 経済調査会の土木施工単価を使用)
コンクリートブロック積	300*400*350	m2	4,480	材料費

1. システムの起動

WINDOWSのスタートメニュー画面又はデスクトップより”丸建積算”のアイコンをダブルクリックして下さい。



以下の丸建積算システムメニュー画面が表示されます。新02年度版：公共土木工事編 にマウスを合わせ1回だけクリックして下さい。



※ このメニュー画面は、年度別、システム別に表示されますのでご利用になるシステムにマウスを合わせクリックしてください。

メニュー画面より選択したシステムをクリックすると次の「基本条件」入力画面が表示されデータの入力待ちとなります。

基本条件 ×

基本1 | 基本2 | 基本3 | 隣接工事 | 工事詳細

A	工事名称		既存の工事ファイル			
B	積算種別	公共土木	PDF読み込み			
C	発注機関	国土交通省	<input type="checkbox"/> PDFファイル表示			
D	設計	当初設計	<input type="checkbox"/> 総価方式			
E	工事種別	河川工事	<input type="checkbox"/> 緊急工事			
F	大都市補正	該当しない	<input type="checkbox"/> 堰堤高さ20m以上			
G	復興係数	該当しない	<input type="checkbox"/> 施工パッケージ国交省型（標準タイプ）以外			
H	地域補正	無し	使用単価			
I	現場環境改善	無し	適用年月	適用地区		
J	契約保証費	金銭的保証	労務	R02.04国	02熊本県	
K	前払率	40.0%	市場	R02.04国	13熊本県	
L	消費税率	10%	材料	R02.04国	01熊本	
M	経費算出区分	点在型経費	説明	市場・材料適用説明	該当市町村名表示	
N	週休2日実施	しない		パッケージ単価	標準	単価適用説明
O	熱中症対策	無し	説明			

OK キャンセル

2. 基本条件の入力

基本条件は、間接経費率を算出するための条件を入力するものです。

今回の例題では、以下の工事条件が内訳書に記載されておりますので該当個所に入力して下さい。

【基本条件入力項目】

発注機関 : ○○県
工事名 : ○○河川災害復旧工事
工種 : 河川工事
現場環境改善費 : 計上有 (市街地以外)

基本条件

基本1 | 基本2 | 基本3 | 隣接工事 | 工事対比

A 工事名称 ○○河川災害復旧工事 既存の工事ファイル

B 積算種別 公共土木 PDF読み込み

C 発注機関 国土交通省 PDFファイル表示

D 設計 当初設計

E 工事種別 河川工事 説明

F 大都市補正 該当しない 説明

G 復興係数 該当しない 説明

H 地域補正 無し 説明

I 現場環境改善 有(地方部)

J 契約保証費 金銭的保証

K 前払率 40.0%

L 消費税率 10%

M 経費算出区分 点在型経費 説明

N 週休2日実施 しない 説明

O 熱中症対策 無し 説明

総価方式
 緊急工事
 堰堤高さ20m以上
 施工パッケージ国交省型(標準タイプ)以外

使用単価

適用年月 適用地区

労務 R02.04国 02熊本県

市場 R02.04国 13熊本県

材料 R02.04国 01熊本

市場・材料適用説明 該当市町村名表示

パッケージ単価 標準 単価適用説明

工事条件項目の入力が完了したら **OK** ボタンをクリックして下さい。

- ※ A 工事名称及びE 工事種別は入力必須項目です。工事名称は登録(データ保存)の際、ファイル名になります。
- ※ C 発注機関を選定すると、基本2の単価の丸め、歩掛の小数点以下の処理等を自動で設定します。
- ※ E 工事種別は共通仮設費以下の経費率計算を決定する重要な役割があります。工種内容が不明の場合 **説明** ボタンをクリックしてください。工種内容の説明が表示されます。また、必要に応じてH 地域補正、I 現場環境改善費の選択を行って下さい。

【ワンポイント】

基本条件の変更等は、画面左上の「工事条件 (J)」をクリックして下さい。以下のウィンドウ画面が表示されます。



上記表示内容より「基本条件 (J)」を選択しクリックすると以下の「基本条件」入力画面が表示され、基本条件の変更が出来ます。

基本条件

基本 1 | 基本 2 | 基本 3 | 隣接工事 | 工事別ID

A	工事名称	〇〇河川災害復旧工事	既存の工事ファイル
B	積算種別	公共土木	PDF読み込み
C	発注機関	国土交通省	<input type="checkbox"/> PDFファイル表示
D	設計	当初設計	
E	工事種別	河川工事	説明
F	大都市補正	該当しない	説明
G	復興係数	該当しない	説明
H	地域補正	無し	説明
I	現場環境改善	有(地方部)	
J	契約保証費	金銭的保証	
K	前払率	40.0 %	
L	消費税率	10 %	
M	経費算出区分	点在型経費	説明
N	週休2日実施	しない	説明
O	熱中症対策	無し	説明

総価方式
 緊急工事
 堰堤高さ20m以上
 施工パッケージシ国交省型(標準タイプ)以外

使用単価

適用年月	適用地区
労務 R02.04国	02熊本県
市場 R02.04国	13熊本県
材料 R02.04国	01熊本

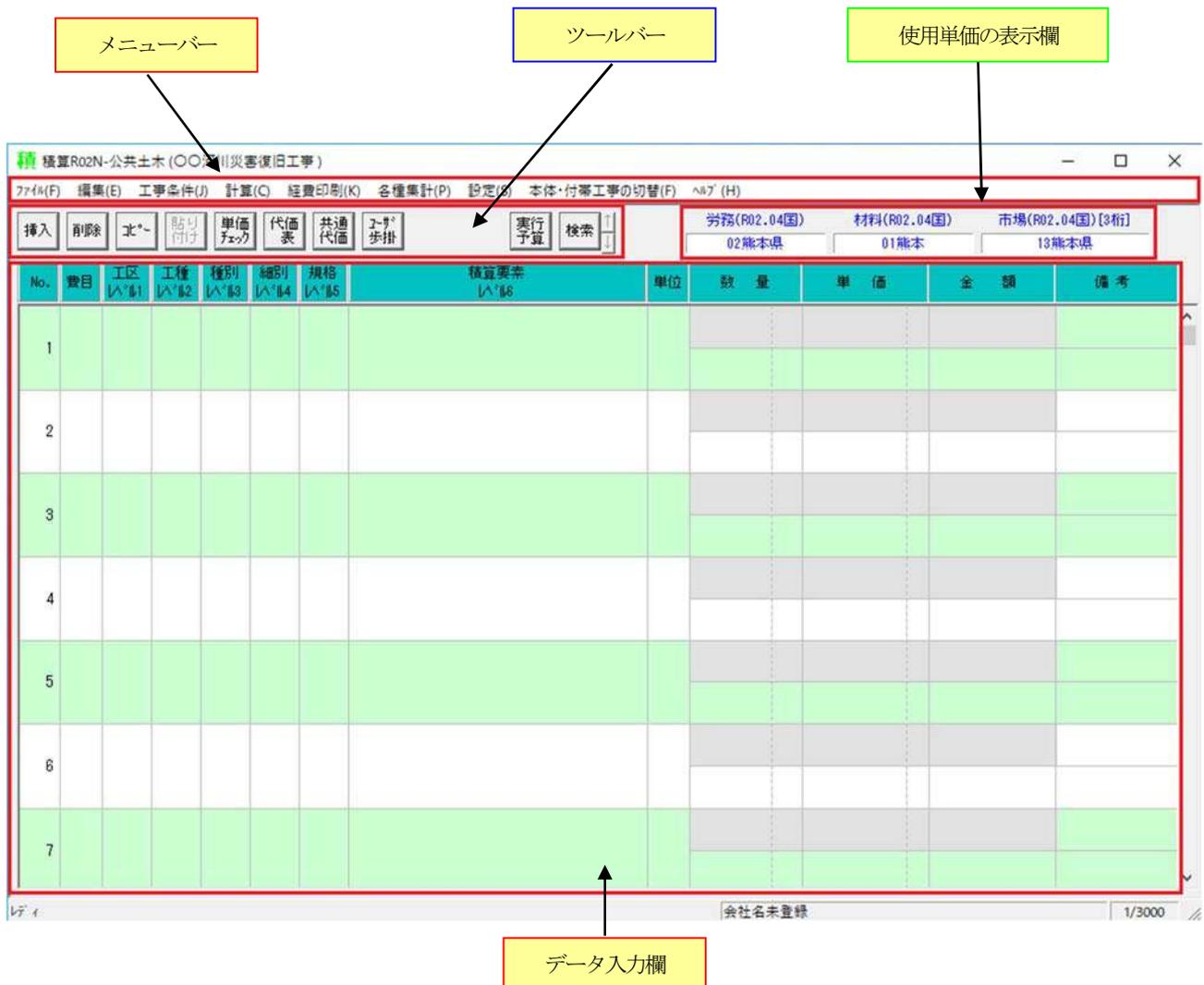
市場・材料適用説明 該当市町村名表示

パッケージ単価 標準 単価適用説明

OK キャンセル

3. 内訳表入力画面の構成について

「内訳表入力画面」の画面構成は以下のとおりです。



メニューバー	ファイル機能、印刷機能など機能別にメニューが分類されています。名称をクリックすると、メニュー一覧が表示されます。
ツールバー	頻繁に使用される機能を実行できるようにしたボタンの集まりです。
データ入力欄	積算データの入力を行なうところです。入力は行単位に行ないます。
使用単価表示欄	労務単価、材料単価、市場単価の設定内容が表示されます。

4. 費目～規格の入力

それでは、費目～規格までの入力について説明します。費目～規格までは金額の取りまとめ（小計等）です。入力しても単価は出ません。”費目”、”工事区分”、”工種”、”種別”、”細別”、”規格”は選択入力です。入力するかしないかはユーザーで判断してください。

それでは、例題の1行目から3行目を実際に入力してみましょう。

	費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
1	本工事費					
2	築堤・護岸					
3	土工					
4	掘削積込 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満 一般工事	m3	460			土工 → 機械掘削工 S19003

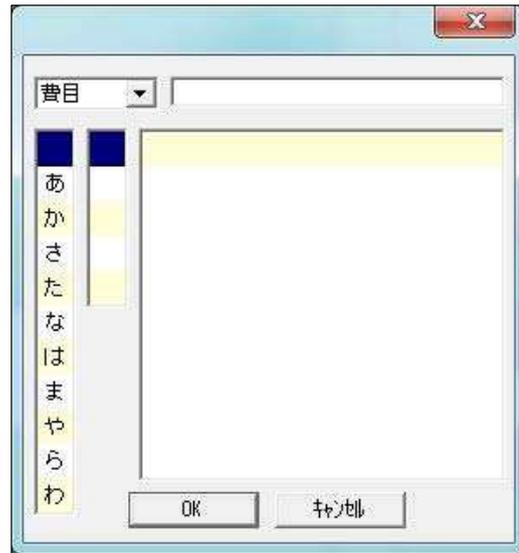
1行目の費目欄（列）の赤い枠に囲まれた部分をダブルクリックします。



以下の画面が表示されますので、 ボタンをクリックして下さい。



… ボタンをクリックすると以下の画面が表示され五十音順で検索できます。当然キーボードより直接入力も可能です。今回は、この参照画面より”本工事費”を検索します。



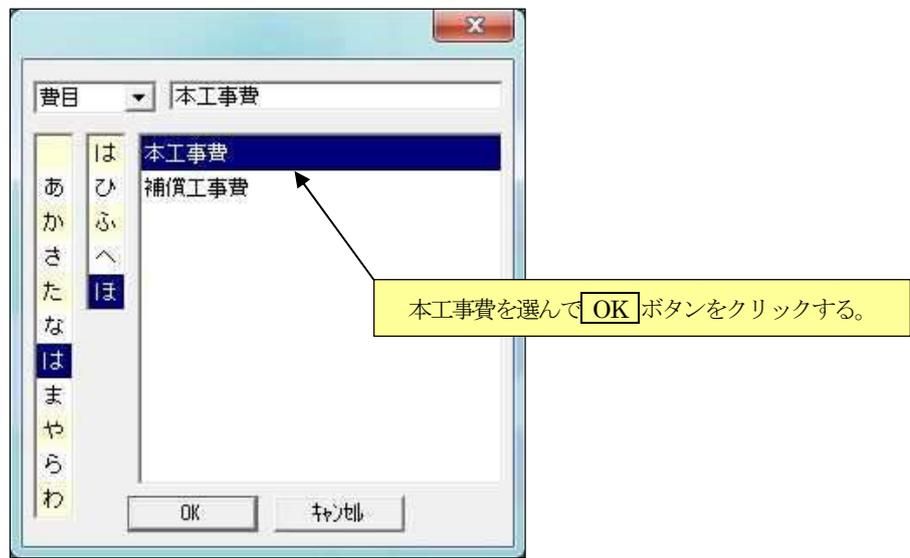
上記画面の”は”をクリックすると”は行”が右の欄（下記画面参照）に表示されます。



”ほ”をクリックすると”ほ”から始まる名称が表示されます。



本工事費にマウスを合わせクリックした後 **OK** ボタンをクリックするか、本工事費にマウスを合わせダブルクリックして下さい。



1行目の費目に”本工事費”が表示されます。これで、1行目の入力は終了です。

積算R02N-公共土木 (〇〇河川災害復旧工事)

ファイル(F) 編集(E) 工事条件(J) 計算(C) 経費印刷(K) 各種集計(P) 設定(S) 本体・付帯工事の切替(F) ヘルプ(H)

挿入 削除 北°~ 貼り付け 単価チェック 代価表 共通代価 ユーザ歩掛 実行予算 検索 労務 0

No.	費目	工区	工種	種別	細別	規格	積算要素	単位	数
1	本工事費						...		
2									

次は2行目の入力です1行目と同じ手順で行ないます。2行目の工区(バール1)で赤い枠に囲まれた部分をダブルクリックします。

積算R02N-公共土木 (〇〇河川災害復旧工事)

ファイル(F) 編集(E) 工事条件(J) 計算(C) 経費印刷(K) 各種集計(P) 設定(S) 本体・付帯工事の切替(F) ヘルプ(H)

挿入 削除 北°~ 貼り付け 単価チェック 代価表 共通代価 ユーザ歩掛 実行予算 検索 労務 0

No.	費目	工区	工種	種別	細別	規格	積算要素	単位	数
1	本工事費							式	
2									

ダブルクリックで工事区分(バール1)入力

… ボタンをクリックして下さい。

No.	書目	工区	工種	種別	細別	規格	積算要素	単位	数
1								式	
2							…		

”た行”をクリックし”ち”をクリックすると”ち”から始まる名称が表示されますので、”築堤・護岸”にマウスを合わせダブルクリックして下さい。



築堤・護岸にマウスを合わせクリックしてからOK ボタンをクリックしても同じ結果が得られます。

2行目の工区に”築堤・護岸”が表示されます。これで、2行目の入力は終了です。

No.	書目	工区	工種	種別	細別	規格	積算要素	単位	数
1								式	
2							築堤・護岸		

次は3行目の入力です。2行目と同じ手順で行ない、3行目(工種欄)に“土工”を入力します。

積算R02N-公共土木 (〇〇河川災害復旧工事)																									
77(M)F) 編集(E) 工事条件(I) 計算(C) 経費印刷(K) 各種集計(P) 設定(S) 本体・付帯工事の切替(F) ヘルプ(H)																									
挿入		削除		上へ		貼り付け		単価フェック?		代価表		共通代価		ユザ? 歩掛		実行予定		検索		労務(R02.04国)		材料(R02.04国)		市場(R02.04国)[9桁]	
																				02熊本県		01熊本		13熊本県	
No.	番目	工区 I/A1	工種 I/A2	種別 I/A3	細別 I/A4	規格 I/A5	積算要素 I/A6					単位	数量	単価	金額	備考									
1							本工事費					式			0										
2							築堤・護岸					式			0										
3							土工					式			0										
4							ダブルクリックで積算要素(I/A6)入力 (コード・単位・単価・金額自動入力)																		
5																									

以上がレベル入力の操作です。

5. 歩掛単価の算出

5-1. 歩掛コードの検索

歩掛単価の入力は、原則として、手入力する必要はありません。”積算要素(レベル6)”欄をダブルクリックし操作画面に従って歩掛コードを検索し数量及び条件を入力することによりシステムが自動的に単価を算出します。操作手順は以下のとおりです。

入力したい行の”積算要素(レベル6)”欄(下記画面赤枠の部分)でダブルクリックしてください。

No.	費目	工区	工程	種別	細別	規格	積算要素 レベル6	単位	数量	単価	金額	備考
1								式			0	
2								式			0	
3								式			0	
4												
5												
6												
7												

以下のコード選択画面が表示されます。



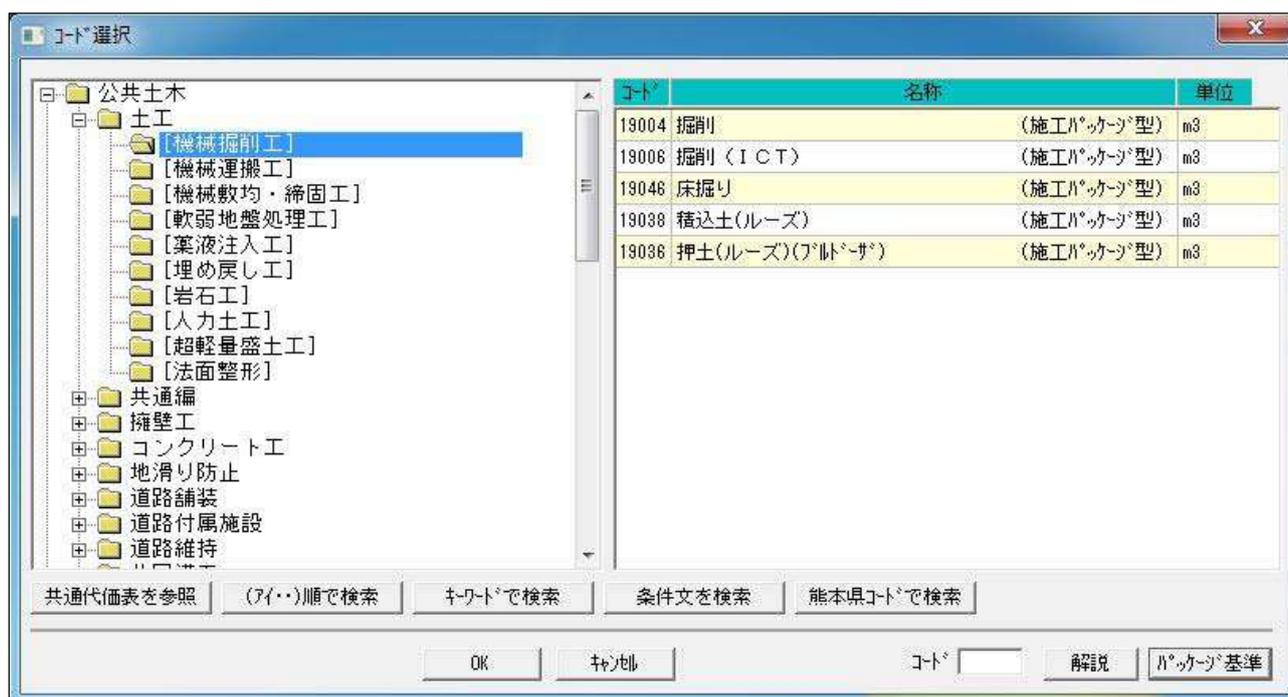
では、コード選択の操作手順を説明します。説明は積算例4行目の内容です。

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
掘削積込 土砂 オブソカット 押土無し 障害無し 5,000m3 未満	m3	460			土工 → 機械掘削工 S19004

まず、上記歩掛コードを探します。下記画面の工種分類は、積算基準書に準じて表示されています。
したがって、上記歩掛コードは、”土工” にあると推測できます、そこで”土工”を開いて下さい。

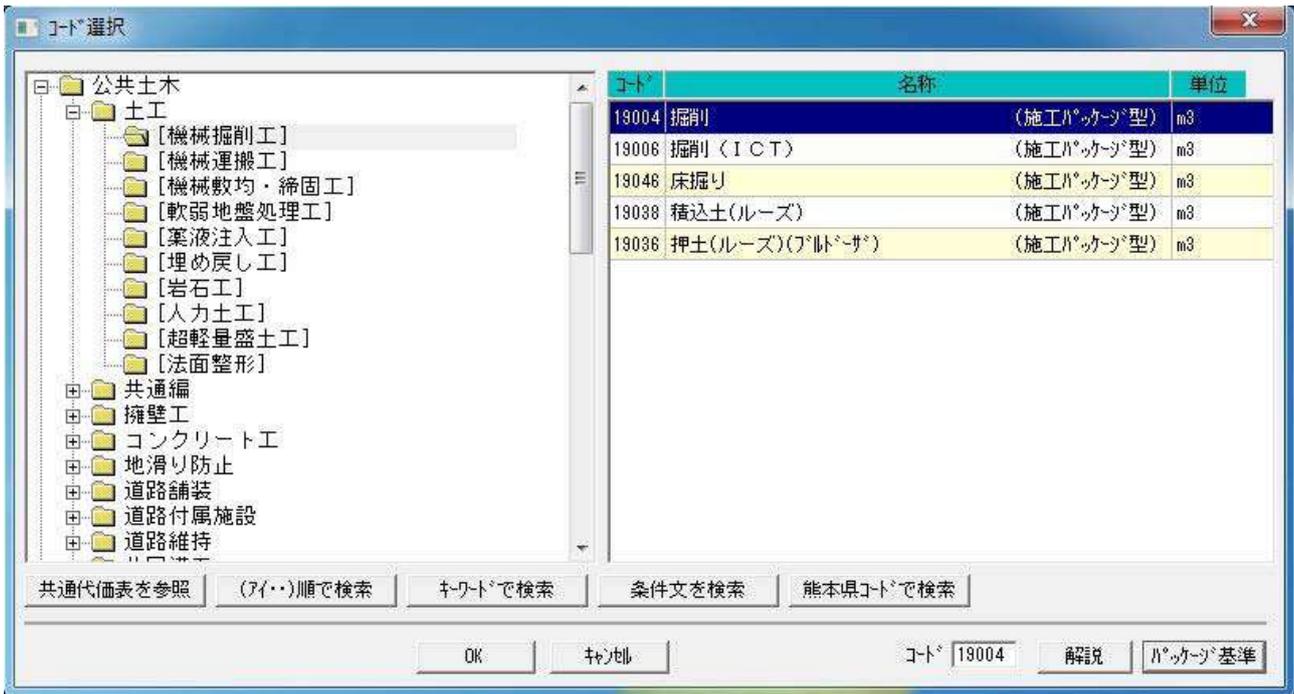


“土工”の をクリックすると土工を構成するグループが表示されます、さらにその中で掘削がありそうな”機械掘削工”を開きます。すると画面右側に機械掘削工の歩掛が表示されます。



右側の歩掛コードより”19004 掘削（施工パッケージ型）”にマウスを合わせてダブルクリックして下さい。

（”19004 掘削（施工パッケージ型）”にマウスを合わせてクリックした後 **OK** ボタンをクリックしても同じです。）



【ワンポイント】

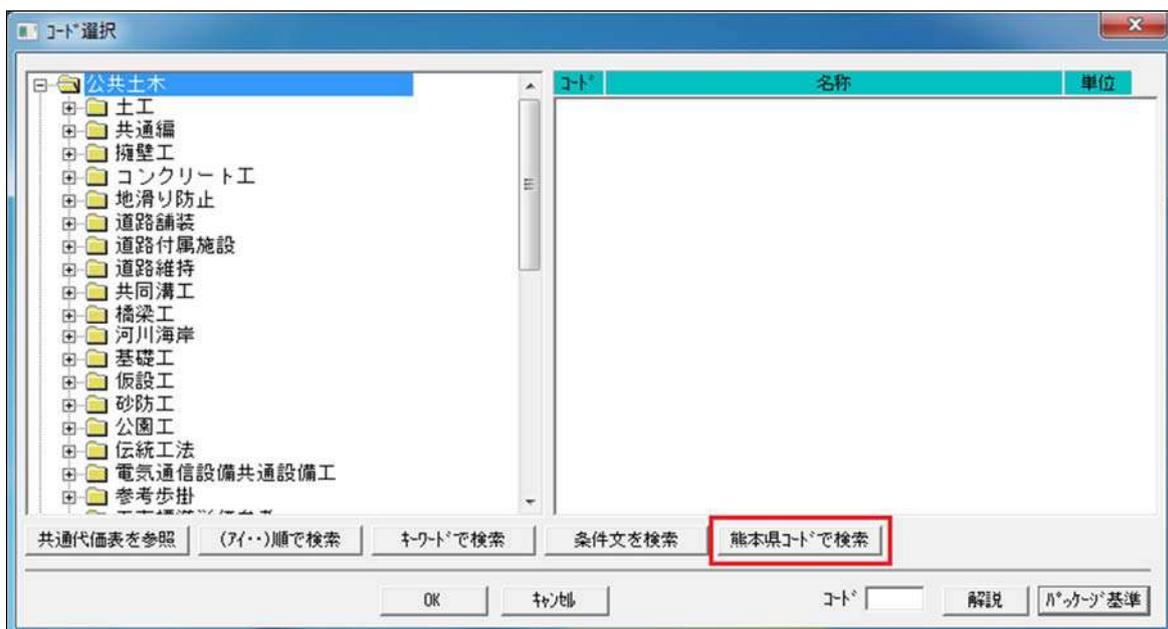
1. 歩掛コードの検索及び入力方法

歩掛コードの検索には上記方法以外に以下の方法があります。

1) 県コードを入力して検索する方法

県コードを入力するには、「熊本県コードで検索」をクリックします。

※県名は工事条件の労務県名より自動設定されます。



次の画面が表示されます。

熊本県コード検索

県コード SZA105 検索

コード	名称
19022	土砂等運搬 ダンプトラック (施工バケット型)

OK キャンセル 対象 該当積算工種

①ここに県のコード番号を入力

②検索ボタンをクリック

③県コードに対応するコードが表示される

「OK」をクリックすると歩掛条件へと進みます。

19022

コード 19022 土砂等運搬 ダンプトラック (施工バケット型) コード参照

数量 0.000 条件 5個 歩掛変更 公共土木

潮待割増率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し

労務割増 夜間 其他 0% 労務説明

調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0

水替対象 0%

掛率 1.000 全体掛率適用しない 機械単価 (短期)

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

数量はm3単位で入力してください。

H24年10月 タイヤ損耗は考慮しないWに修正

H26年07月 タイヤ損耗は考慮するの条件追加

H26年12月 岩類の岩石機械損料割増をしないよう修正

条件

J0	10tダンプ運搬 積込BH0.80m3[平積0.60m3]
J1	土砂
J2	運搬距離 km
J3	D I D区間 (人口集中地区) 無し
J4	適用しない

入力完了 キャンセル

解説 (F1)

単価チェック

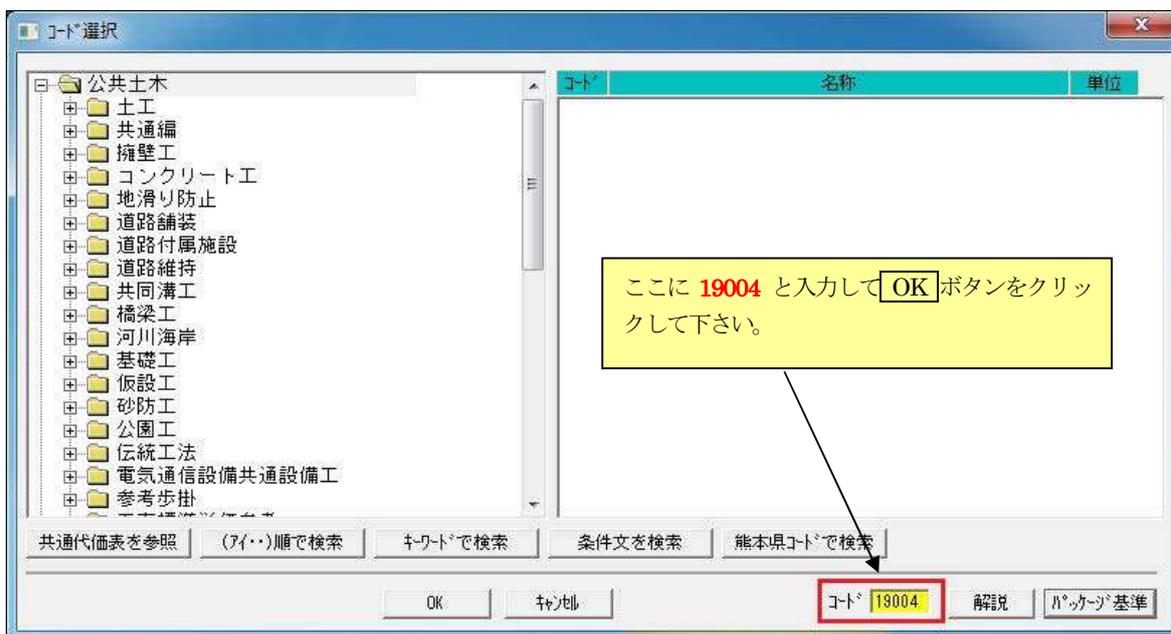
材料・市場選択 (F3)

県コードで検索できる発注機関は現在下記のとおりです。

1. 北九州市
2. 大分県
3. 熊本県
4. 鹿児島県

1) 歩掛コードを直接入力する方法

コード表を参照しコード選択画面のコード欄に直接歩掛コードを入力します。例としてコード入力欄に19004と入力してみましょう。



“19004 掘削（施工パッケージ型）”の「歩掛単価」画面が表示されます。



2) キーワード検索

歩掛コードの名称を入力して検索する方法です。

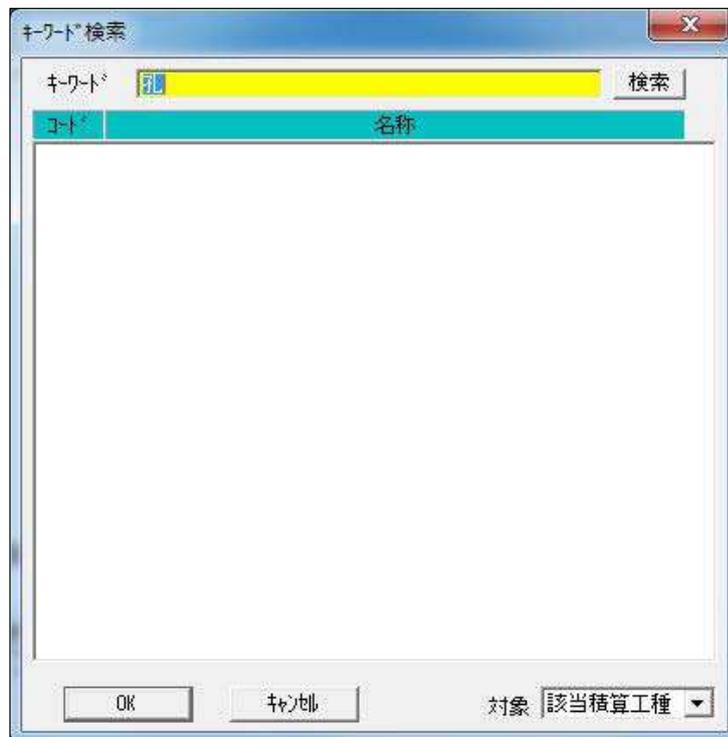
目的の歩掛コードを素早く探したい場合、この方法が便利です。

では、例として”19118 コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)”を検索してみましょう。

キーワードで検索するのボタンをクリックして下さい。

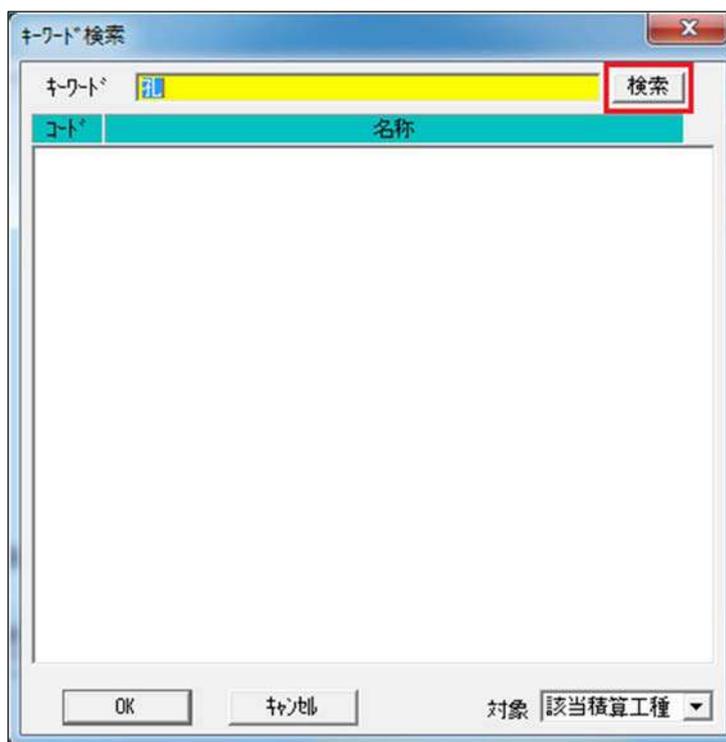


下記画面が表示されますので、キーワード欄に”孔”と入力してみましょう。



※ はじめにキーワードを入力する場合は一番短い文字で検索し、順次検索文字数を増やして行くと簡単に該当する歩掛コードを探ることが出来ます。

キーワードが確定したら「検索」ボタンをクリックして下さい。



”孔”の文字が付くコードの一覧が表示されます。該当するコードにマウスを合わせ「OK」ボタンをクリックするかダブルクリックして下さい。選択した歩掛コードの歩掛単価画面が表示されます。



3) 五十音順検索

コード選択画面の「(アイ…) 順で検索」のボタンをクリックすると、歩掛コードが五十音順に表示されます。



下記画面のとおり五十音順のコード選択画面が表示されます。



2 共通代価表の検索方法

既に作成した共通代価表を選択する場合にはコード選択画面の **共通代価表を参照** のボタンをクリックしてください。



下記画面が表示されますのでこの画面より該当する共通代価表を選択して下さい。

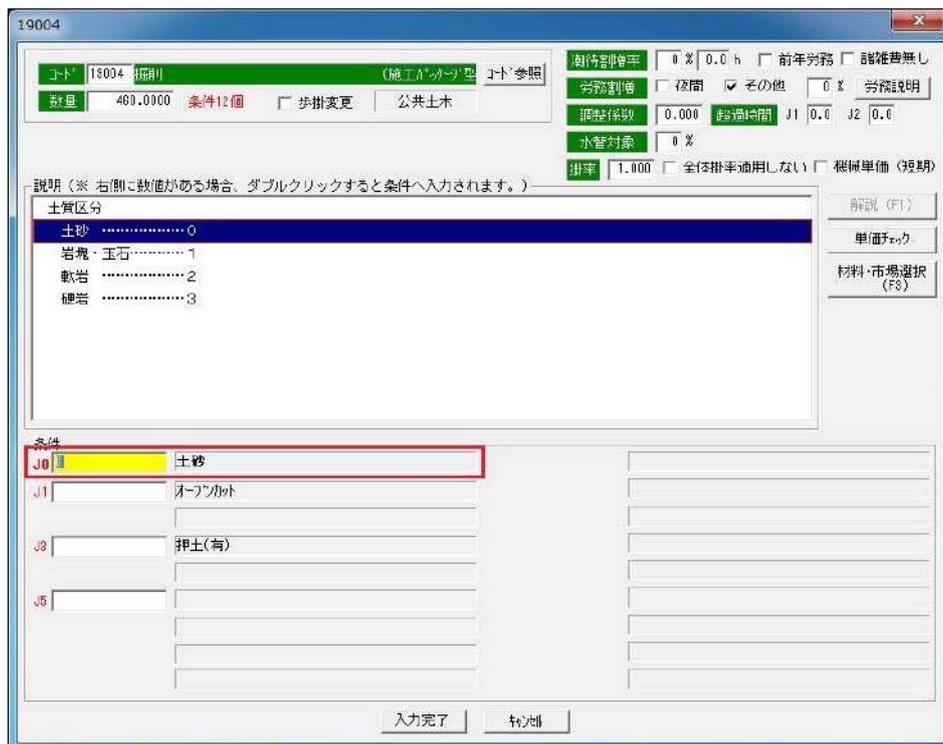


5-2. 歩掛の数量、条件入力

P18 で説明した手順で歩掛コードを開くと、下記の「歩掛単価」画面が表示されます。説明欄には当該歩掛コードに関する説明、注意事項、条件内容等が表示されますので、歩掛の数量及び条件を入力して下さい。

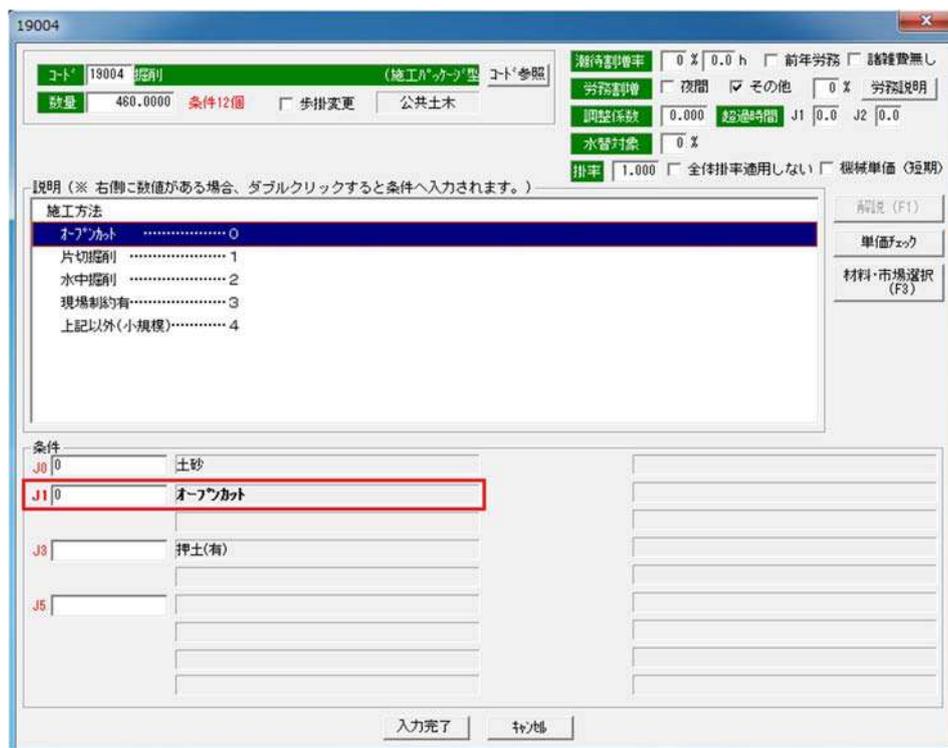
まず、設計数量を数量欄に入力して下さい。この積算例の場合”460”とキーボードより入力して下さい。

設計数量の入力が完了したら次は、各歩掛の条件を入力して下さい。まず、条件 **J0** にマウスを合わせクリックして下さい。**J0** (土質区分) の条件内容が説明欄に表示されますので、該当する番号を入力して下さい。今回の積算例は0番に該当しますので”0”を入力します。(下記画面のように“……”の後に番号が付されている場合、ダブルクリックで番号が入力され、次の条件へ移行します。)



次に **J1** にマウスを合わせクリックして下さい。

J1 (施工方法) の条件が表示されます、積算条件に従い”0”を入力します。



次に **J3** にマウスを合わせクリックして下さい。

また、J3以降の条件も、積算例に従い以下のように番号を入力していきます。

条 件		
J3	1	押土無し
J4	0	障害無し
J5	4	5,000m ³ 未満

入力が終了したら条件内容を確認し **入力完了** ボタンをクリックして下さい。



積算R02N-公共土木 (〇〇河川災害復旧工事)

774(F) 編集(E) 工事条件(J) 計算(C) 経費印刷(K) 各種集計(P) 設定(S) 本体・付帯工事の切替(F) A4J (H)

労務(R02.04国) 材料(R02.04国) 市機(R02.04国) [3桁]
02熊本県 01熊本 10熊本県

No.	費目	工区	工種	種別	種別	規格	積算要素	単位	数 量	単 価	全 額	備 考
1								式			300	
2								式			300	
3								式			300	
4							土砂・オート・アースコート・押土(無) 障害(無) - 5,000m ³ 未満	m ³	480,000	300.30	138,138	S18004
5												
8												
7												

会社名未登録 5/3000

【ワンポイント】

条件番号の入力方法

各条件説明のうち条件の後に” ……………0” と番号が付されている場合その表示内容にマウスを合わせてダブルクリックすると自動で番号が入力できます。

19004

コード 19004 掘削 (施工ステップ型) コード参照

数量 460.0000 条件12個 歩掛変更 公共土木

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

土質区分

- 土砂 ……………0
- 岩塊・玉石 ……………1
- 軟岩 ……………2
- 硬岩 ……………3

条件

J0	0	土砂
J1	0	オープンカット
J3	1	押土(無)
J4	0	障害(無)
J6	2	5,000m3未満

19004

コード 19004 掘削 (施工ステップ型) コード参照

数量 460.0000 条件12個 歩掛変更 公共土木

調整率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し

労務割増 夜間 その他 0% 労務説明

調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0

水替対象 0%

掛率 1.000 全体掛率適用しない 機械単価 (短期)

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

このコードはH25年10月以降に適用します。
数量はm3単位で入力してください。
H25年11月 エラー表示した場合、単価チェックで入力ミスした条件を表示するよう修正。(入力ミス箇所は全て表示できません。)
H26年10月 基準日作業量追加。岩類は岩石機械損料割増を考慮しないよう修正
H28年11月 ICT積算修正
H29年01月 熊本地震復興対応(復興対象工種は解説参照)
H29年04月 岩塊・玉石オープンカット工種が施工追加、ICT積算を別コードにした
H30年04月 条件J6に10000m3未満が追加
H30年10月 鹿児島県土木部発注の場合、BHL積0.8m3は超低騒音・排ガス2次基準に変更

条件

J0	0	土砂
J1	0	オープンカット
J3	1	押土(無)
J4	0	障害(無)
J6	2	5,000m3未満

解説 (F1)

単価チェック

材料・市場選択 (F3)

入力完了 転記

5-3 名称・規格名の変更

歩掛コード“19004 掘削(施工パッケージ型)”の設計数量及び条件等の入力終了し **入力完了** ボタンをクリックすると積算入力画面に戻り該当歩掛の名称、規格、単位、数量、単価、金額が表示されます。このとき、名称、規格は積算システムで準備した内容で表示しますが、設計書の内訳書と異なる場合にはここで変更できます。一度確定した単価条件及び数量を変更する場合には、その行をダブルクリックして下さい。前出の歩掛単価画面が表示されますので条件または数量を変更できます。

No.	費目	工区	工種	権別	掘削	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
1								式			138,138	
2								式			138,138	
3								式			138,138	
4							掘削 土砂-オープンカット-押土(無) 障害(無)-5,000m3未満	m3	460.000	300.30	138,138	S19004
5												
6												
7												

今回は、名称、規格名を以下の内容に変更します。

項目	内 容
名称	土砂掘削
規格	オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3 未満

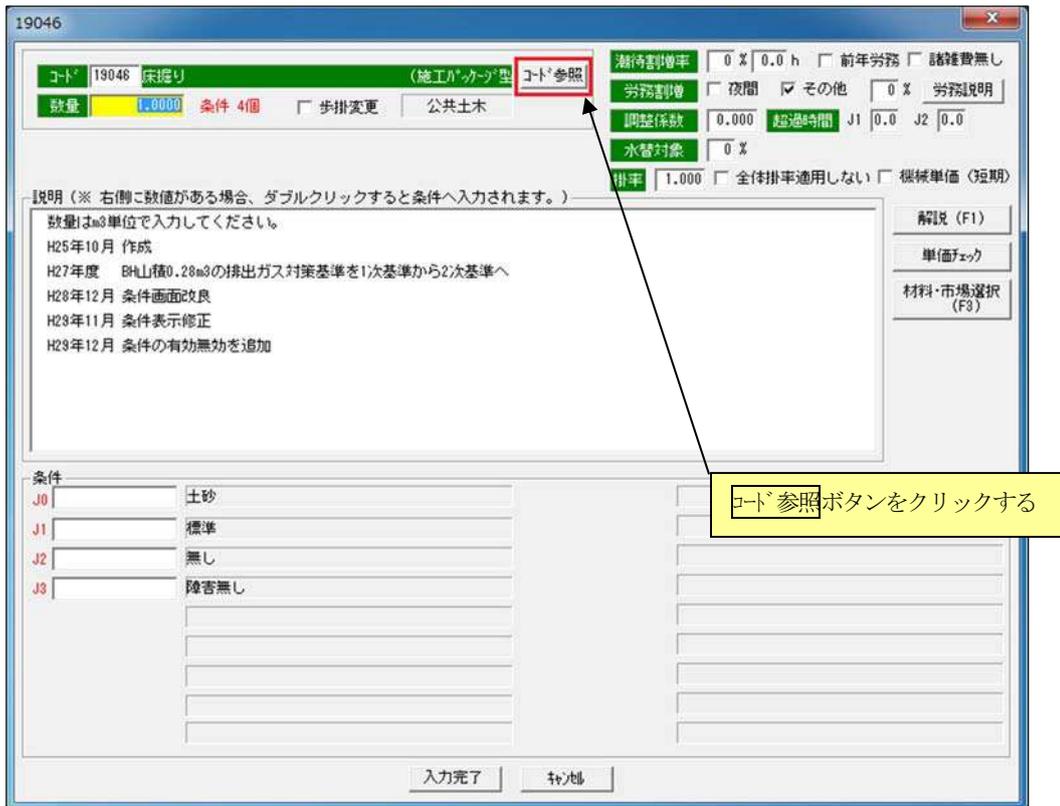
No.	費目	工区	工種	権別	掘削	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
3								式			138,138	
4						掘削 土砂-オープンカット 障害無し 5,000m3未満		m3	460.000	300.30	138,138	S19004
5												
6												
7												

名称、規格名の変更が終了したらマウスを5行目に合わせてクリックして下さい。これで4行目の入力は終了です。

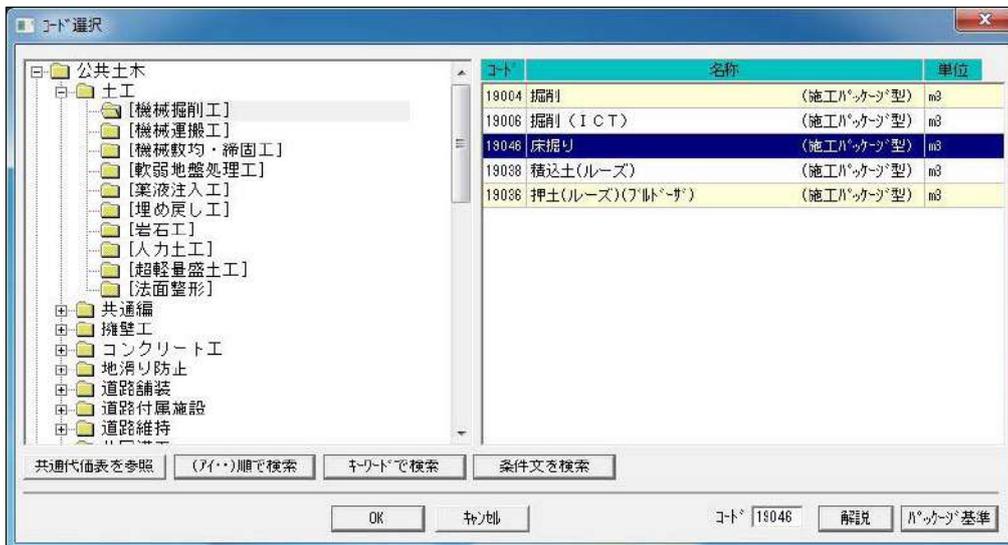
【ワンポイント】

1. 歩掛単価の条件変更

既に入力してある歩掛コード自身を変更する場合には変更したい行の“**積算要素**”欄にマウスを合わせダブルクリックして入力済みの歩掛単価画面を表示させ、コード参照ボタンをクリックします。



以下の画面が表示されますので、コード欄に歩掛コードを直接入力するかまたは、変更したいコードを検索してダブルクリックしてください。



2. 歩掛単価の条件エラーの対応方法

歩掛単価の条件が正しく入力されていない場合には下記画面のとおりエラーが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。

19007

コード: 19007 土砂等運搬 ダンプトラック新 (施工ガレージ型) コード参照

数量: 1.0000 条件: 5個 歩掛変更 公共土木

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

数量はm3単位で入力してください。
H29年11月 新規作成
R01年11月 条件J0とJ1が不整合の場合エラー内容を表示するよう修正

条件

J0	標準	
J1		バックホウ積0.80m3 [平積0.60m3]
J2		土砂(岩塊・玉石混り土含む)
J3		D/D区間無し
J4		運搬距離 km

入力完了 印刷

下記の通り積算入力画面にもエラーが表示されます。

積算R02N-公共土木 (〇〇河川災害復旧工事)

77(F) 編集(E) 工事条件(I) 計算(C) 経費印刷(K) 各種集計(P) 設定(S) 本体・付帯工事の切替(F) 一覧(H)

表行予置 検索

No.	費目	工区	工程	特別	細別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
1	本工事費							式			138,138	
2	築堤・護岸							式			138,138	
3	土工							式			138,138	
4							掘削 土砂-オープンカット 障害無し。5,000m3未満	m3	480.000	300.30	138,138	\$19004
5							土砂等運搬 標準 10tダンプトラック D/D無し エラー 舗装道(良好)	m3	1.000	337.80	337	\$19007
6												
7												

会社名未登録 5/3000

下記画面のとおりエラーとなった次の行に一旦カーソルを移動してください、エラー行から抜けます。

The screenshot shows a software window titled "積算R02N-公共土木 (〇〇河川災害復旧工事)". The table below is the main data area:

No.	費目	工区	工種	種別	細別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
1	本工事費							式			138,475	
2	築費・護岸							式			138,475	
3	土工							式			138,475	
4						掘削 土砂オープンカット 障害無し 5,000m3未満		m3	480,000	300.30	138,138	\$19004
5						土砂等運搬 標準 10tダンプトラック D/D無し エラー 舗装道(良好)		m3	1,000	337.80	337	\$19007
6												
7												

Row 6 is highlighted in blue and contains a red-bordered box with the text: "ダブルクリックで積算要素(列A6)入力 (コード・単位・単価・金額自動入力)".

再度エラーとなった行に移動して右クリック又は画面上部の「単価チェック」のボタンをクリックします。

The screenshot shows the same software window as above, but with annotations. A yellow box points to the "単価チェック" button in the top toolbar, with the text: "この単価チェックボタンをクリック又は右クリックし単価チェックを選ぶ。". A red-bordered box highlights the "単価チェック" option in a context menu that appears over row 5.

No.	費目	工区	工種	種別	細別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
1	本工事費							式			138,475	
2	築費・護岸							式			138,475	
3	土工							式			138,475	
4						掘削 土砂オープンカット 障害無し 5,000m3未満		m3	480,000	300.30	138,138	\$19004
5						土砂等運搬 標準 10tダンプトラック D/D無し エラー 舗装道(良好)		m3	1,000	337.80	337	\$19007
6												
7												

条件と歩掛内容及びエラー情報が表示されますのでこの情報を基に正しい条件に変更してください。

単価チェック

閉じる 75% << 前頁 次頁 >> 2/2 印刷 < 先頭 最後 >

19007 土砂等運搬 標準 10tダンプトラック 1.0m3当たり単価 エラー (参考歩掛) 労務単価 (R02.03)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手(一般)		人	0.006	18,000.00	117.00	
ダンプトラック(フロント・リヤ・モビル) 10t積載		日	0.008	20,400.00	164.00	
軽油(ドラム・缶・給油)(本年)		L	0.477	118.00	56.00	
諸雑費		式	1.000	0.00	0.00	端数整理
計					337.80	
1m3当たり					337.80	
J0:標準		J1:ダンプトラック山積0.80m3 [平積0.60m3]		J2:土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
J3:D10区間無し		J4:運搬距離 km				
J4入力ミス						
日作業量=154m3 (I-12-D-3)						

このエラー内容を基にエラー内容を変更して下さい。

- 2 - 会社名未登録

※ 上記画面を終了させる場合には、画面上部の をクリックするか、または画面左上の ボタンをクリックしてください。

では、引き続き5行目の内容について、コード選択及び歩掛の数量、条件を入力し歩掛単価を算出しましょう。

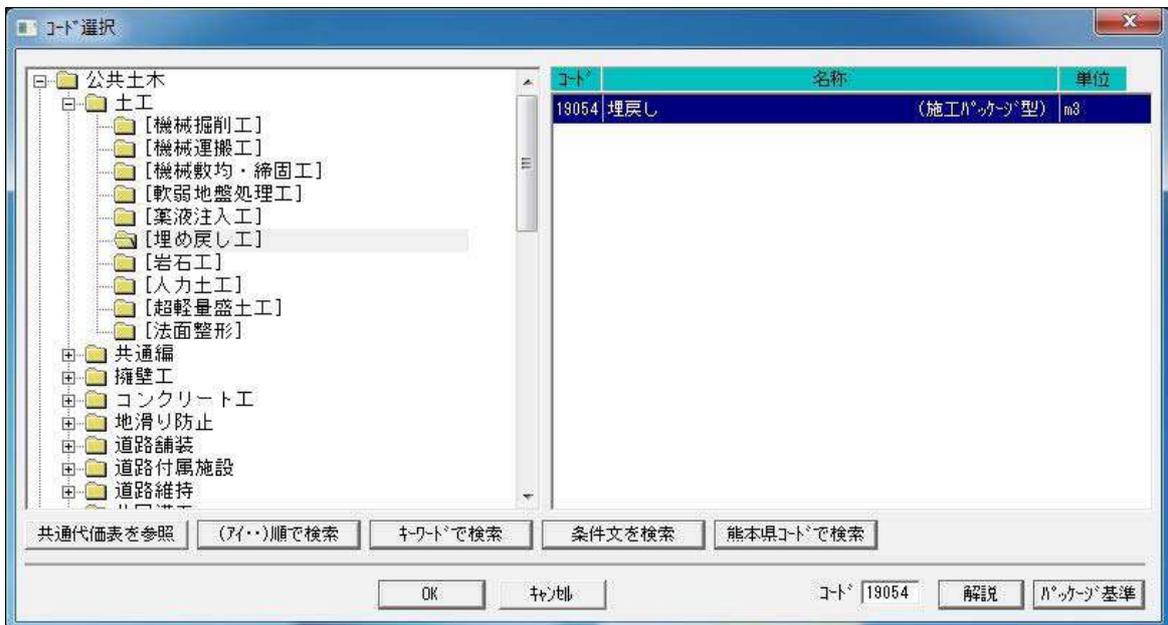
【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	適用
埋戻し 最大埋戻幅4m以上	m3	90			土工 → 埋め戻し工 S19054

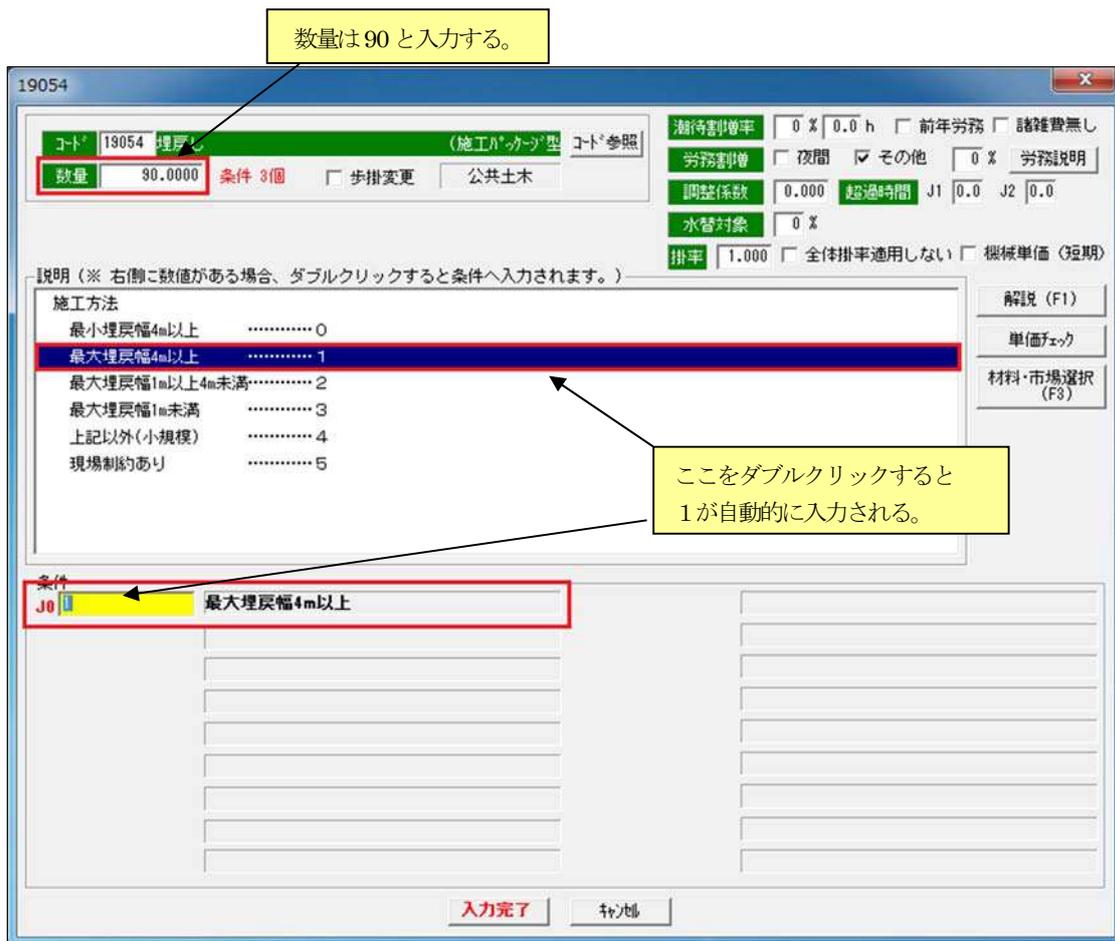
5行目の積算要素欄をダブルクリックして下さい。

No.	巻目	工区	工程	種別	類別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
1							本工事費	式			138,138	
2							築堤・護岸	式			138,138	
3							土工	式			138,138	
4							掘削 土砂・土留め 障害無し 5,000m3未満	m3	460.000	300.30	138,138	S19004
5							ダブルクリックで積算要素 (1/1) 入力 (コード・単位・単価・金額自動入力)					
6												
7												

コード選択画面が表示されますので“土工” → “埋め戻し工” → “19054 埋戻し (施工パッケージ型)”の順に選択して、**OK** ボタンをクリックするかダブルクリックして下さい。



埋戻し（施工パッケージ型）「歩掛単価入力画面」が表示されますので、数量欄に90と入力し、条件J0には、説明に表示されている“最大埋戻幅4m以上……………1”にマウスを合わせダブルクリックすると条件J0に1が入力されます。以上で「入力完了」です。



下記画面のとおり埋戻し（施工パッケージ型）の1m3 当たり単価が自動的に算出されます。

No.	書目	工区	工程	種別	細目	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
1	本工事費							式			213,897	
2	乗受・護岸							式			213,897	
3	土工							式			213,897	
4						掘削 土砂・オープンカット 障害無し 5,000m3未満		m3	480.000	300.30	136,136	018004
5						埋戻し 最大埋戻幅4m以上		m3	90.000	841.10	75,699	019054
6												
7												

【6行目の入力】

6行目は、土砂運搬の歩掛単価を算出します。

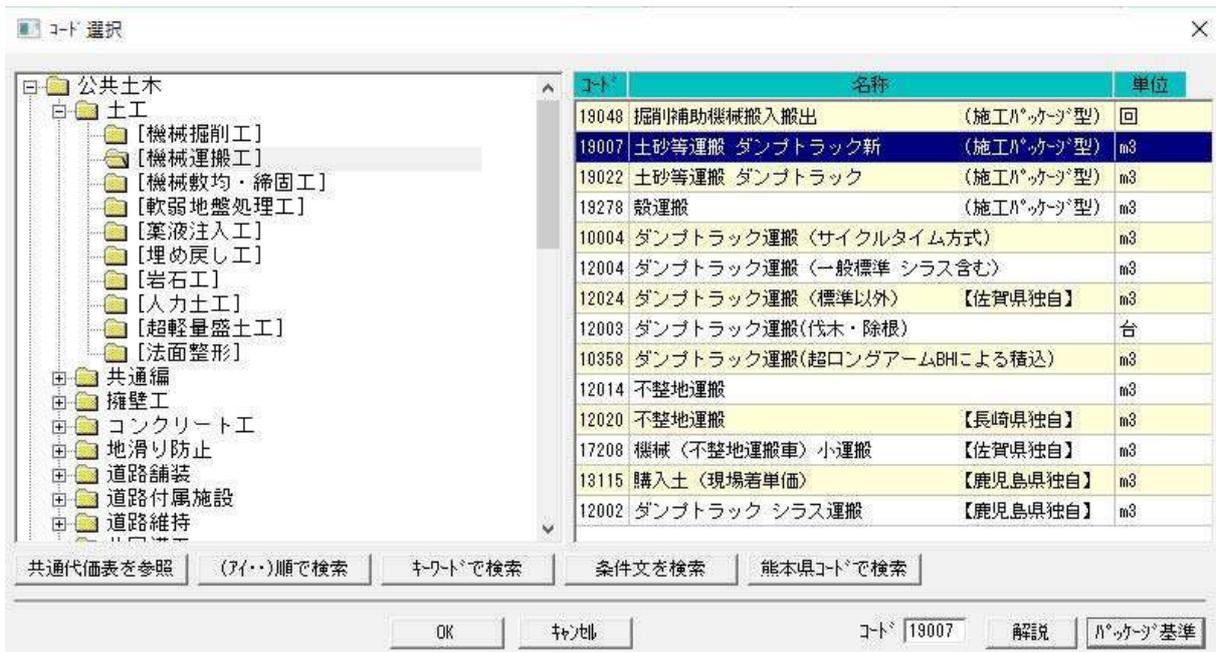
【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
土砂運搬 10t ダンプトラック BHO.80m3 積込 運搬距離2Km DID 区間無 舗装路	m3	350			土工 → 機械運搬工 S19022

6行目の積算要素欄をダブルクリックして下さい。



コード選択画面が表示されますので、“土工” → “機械運搬工” → “19007 土砂等運搬ダンプトラック(施工パッケージ型)”の順に選択して ボタンをクリックするかダブルクリックして下さい。



土砂等運搬ダンプトラック(施工パッケージ型)の歩掛単価入力画面が表示されますので、数量欄に350と入力し、各条件には以下の内容(積算例より)を入力し **入力完了** ボタンをクリックして下さい。

条 件		
J0	0	標準
J1	0	バックホウ山積BH0.80m3[平積0.6m3]
J2	0	土砂(岩塊・玉石混り土含む)
J3	0	DID区間無し
J4	2	運搬距離2.0km

19007
×

コード 19007 土砂等運搬 ダンプトラック新 (施工パッケージ型) コード参照
数量 1.0000 条件 5個 歩掛変更 公共土木

滞在割増率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し
労務割増 夜間 その他 0% 労務説明
調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0
水替対象 0%
掛率 1.0000 全体掛率適用しない 機械単価(短期)

説明(※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

運搬距離 km単位入力(最大60kmまで)
 ※運 搬 距 離は片道であり、往路と、復路が異なる場合は、平均値とする。

解説(F1)
単価チェック
材料・市場選択(F3)

条件	J	内容	
J0	0	標準	
J1	0	バックホウ山積0.80m3[平積0.60m3]	
J2	0	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	
J3	0	DID区間無し	
J4	2	運搬距離 2 km	

入力完了
キャンセル

【7行目の入力】

7行目は、工種名称の入力です。今回は、2～3行目で説明しました名称検索を使用せず直接名称を入力してみましょう。

3	土工						
4	掘削積込 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 50,000m3未満	m3	460			土工 → 機械掘削工 S19004	
5	埋戻し 最大埋戻幅4m以上	m3	90			土工 → 埋め戻し工 S19054	
6	土砂運搬 10tダンプトラック BH0.80m3積込 運搬距離2Km DID区間無し 舗装路	m3	350			土工 → 機械運搬工 S19007	
7	法覆工						
8	基礎 コンクリート	m	40			別紙第1号表	

7行目の工種の列でダブルクリックして下さい。

The screenshot shows a software window titled "積算R02N-公共土木 (〇〇河川災害復旧工事)". The main table lists construction items with columns for No., 費目, 工区, 工種, 種別, 細別, 規格, 積算要素, 単位, 数量, 単価, 金額, and 備考. Item 7 is highlighted in yellow, and a red box is drawn around it, indicating where to double-click.

以下の画面となりますのでフォームへキーボードより法覆工と直接入力して下さい。

The screenshot shows the same table as above, but with a yellow box highlighting the input field for item 7. The text inside the yellow box says "ここに直接“法覆工”と入力して下さい。" (Please enter "法覆工" directly here). Below the table, a search dropdown is shown with "法覆工" entered and highlighted in a red box.

6. 代価表作成

代価表とは、複数の単価を1つの単価にしたものです。例えば、コンクリート擁壁等で10m当たりの数量としてコンクリート打設 2m³、型枠 15m²がある場合、それぞれ10m当たりの数量と単価を掛けその合計を10で割った単価表を代価表と称します。（注意：平成14年度より擁壁は構造物単位があるので、代価表を作成しなくてもよい場合がある）

ここでは積算例の8行目に記載されている基礎コンクリートの代価表を;例に作成方法を説明します。

注：代価表内で諸雑費を計上する場合、その他機能の15-14代価表内諸雑費計上を参照してください。

【積算例】

6	土砂運搬 10tダンプトラック BH0.80m ³ 積込 運搬距離2Km DID区間無 舗装路	m ³	350			土工 → 機械運搬工 S19022
7	法覆工					
8	基礎コンクリート	m	40			別紙第1号表



【代価表の内容】

第 1 号 表 基礎コンクリート工 10m当たり 単価表						
費目・名称	規格	単位	員数	単価	金額	摘要
1 基面整正		m ²	5.0			土工→人力土工 S19050
2 現場打基礎コンクリート	2m以下 基礎無し 18-8-40	m ³	2.1			擁壁工→間知ブロック工 S19161 生コン：14,800円/m ³
計						
1m当たり						

まず、代価表を作成する行(今回8行目)にカーソルが移動しているか確認し、画面上部の「代価表」ボタンをクリックしてください。

積算R02N-公共土木 (〇〇河川災害復旧工事)

77(F) 編集(E) 工事条件(D) 計算(C) 経費印刷(K) 各種集計(P) 設定(S) 本体・付帯工事の切替(F) ヘルプ(H)

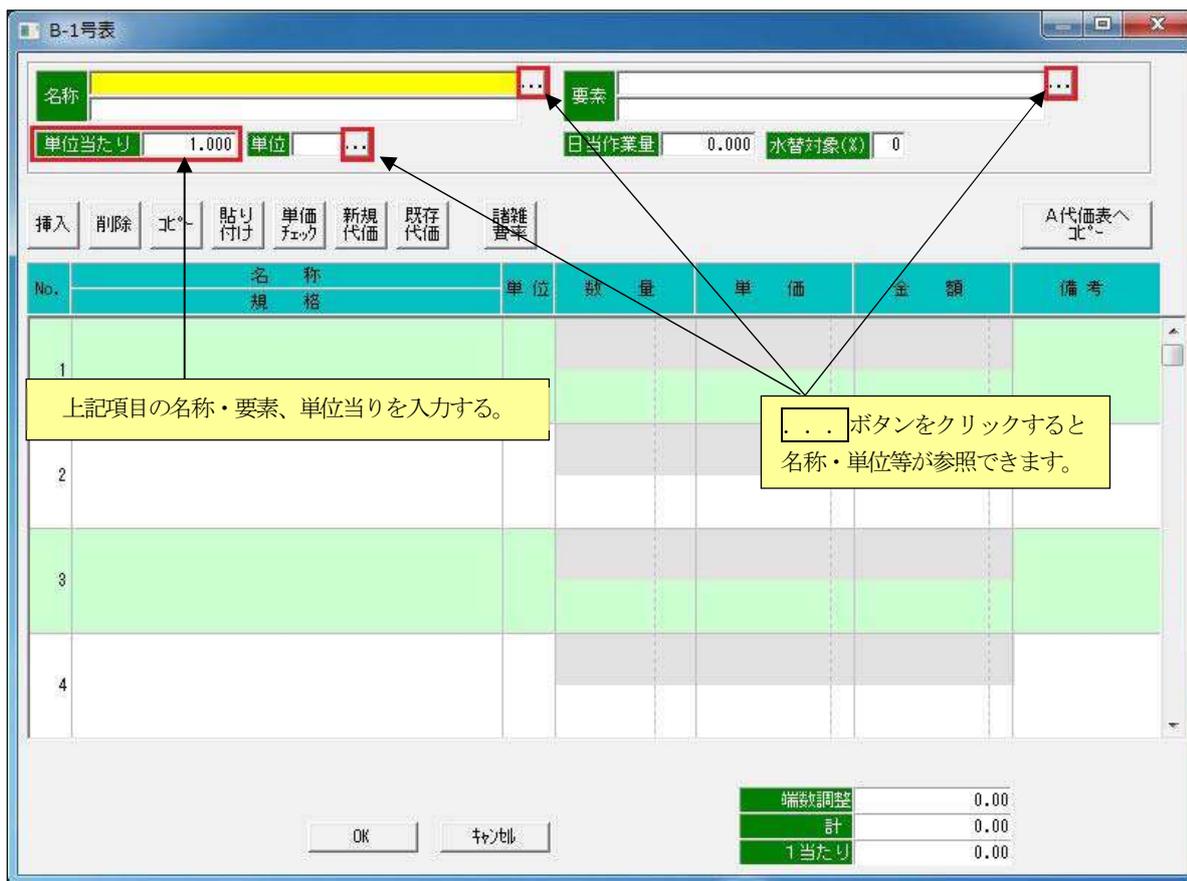
挿入 削除 複製 貼り付け 単価入力 **代価表** 共通単価 入力 歩掛 実行予定 検索

労務(R02.04国) 02熊本県 材料(R02.04国) 01熊本 市場(R02.04国) [3桁] 13熊本県

No.	費目	工区	工程	種別	細別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
5						埋戻し 最大埋戻幅4m以上		m ³	90,000	841.10	75,699	S18054
6						土砂等運搬 標準 10tダンプトラック DID無し 積込BH0.80m ³ 土砂 距離2.0km 舗装道(良好)		m ³				
7			法覆工									
8												
9												
10												
11												

会社名未登録 8/3000

次の画面が表示されますので名称、規格、単位当たり、単位を入力して下さい。
 なお、名称等は右の「...」ボタンをクリックすると文字参照できます。



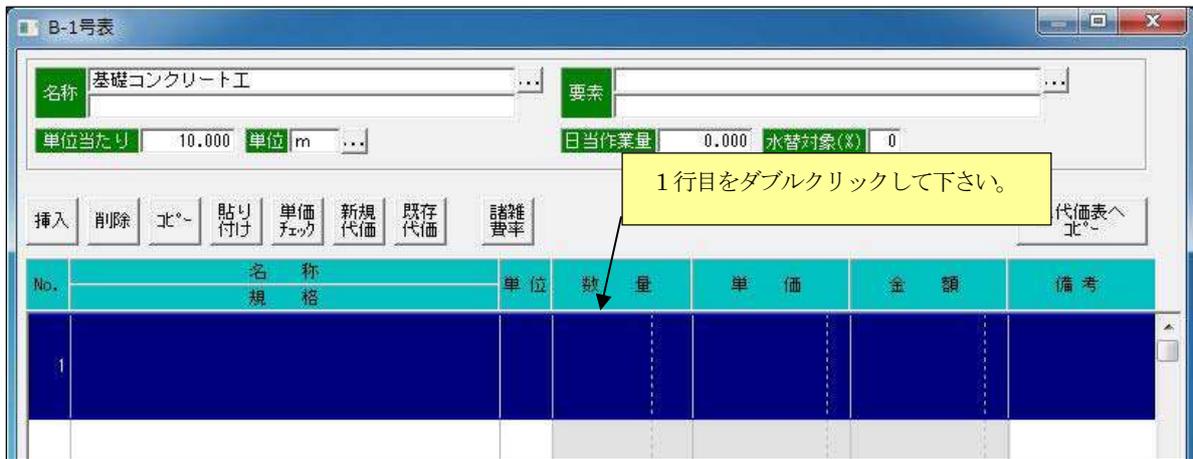
まず最初に、名称、規格、単位当たり、単位の各入力欄に以下の内容を入力して下さい。

項目	入力内容(値)	備考
名称	基礎コンクリート工	
要素		入力なし
単位当たり	10	
単位	m	

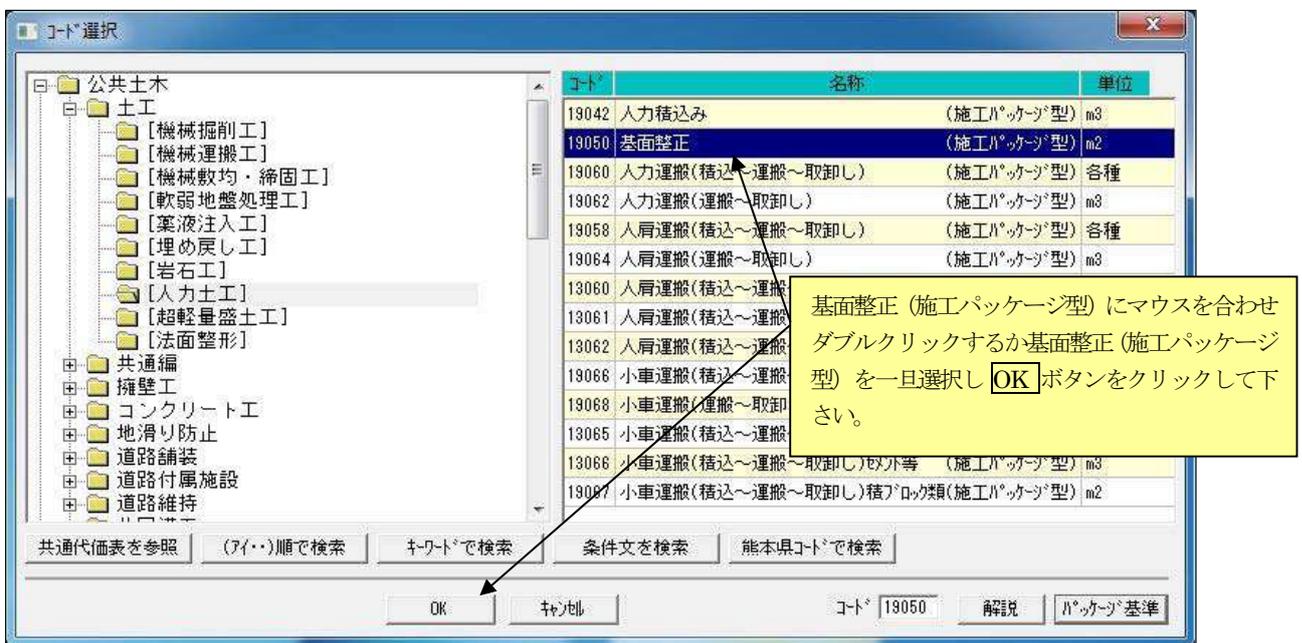
名称、要素、単位当たり、単位の各項目を上記のように入力して下さい。



単位までの入力を終えると行にカーソルが移動されますので、これより各歩掛内容を入力します。
1行目の名称・規格欄をダブルクリックして下さい。

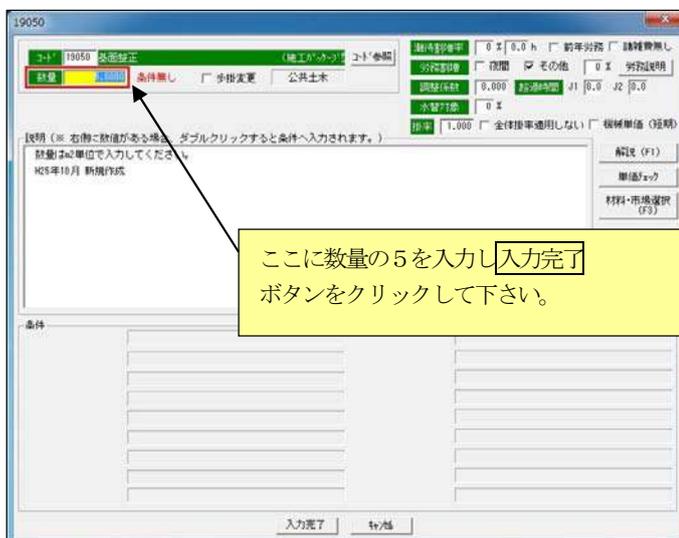


下記のコード選択画面が表示されますので“土工” → “人力土工” → “19050 基面整正 (施工パッケージ型)”の順で“基面整正 (施工パッケージ型)”が表示されている箇所をダブルクリックするか、または“基面整正 (施工パッケージ型)”を選択して **OK** をクリックして下さい。



“基面整正 (施工パッケージ型)”の歩掛単価入力画面が表示されますので、数量欄に“5”と入力して **入力完了** ボタンをクリックして下さい。

※ 基面整正 (施工パッケージ型) には条件の入力項目はございません。



下記画面が表示され基面整正の単価が自動的に算出されました。

B-1号表

名称 基礎コンクリート工 要素

単位当たり 10.000 単位 m 日当作業量 0.000 水替対象(%) 0

挿入 削除 コピー 貼り付け 単価チェック 新規代価 既存代価 諸雑費率 A代価表へ

No.	名称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	基面整正	m2	5.0000	360.00	1,800.00	S19050
2						
3						
4						

端数調整 0.00 端数調整無し

計 1,800.00

1当たり 180.00

OK キャンセル

続いて代価表の2行目に“現場打基礎コンクリート”の歩掛コードを選択し数量及び条件を入力します。まず、2行目の名称・規格欄にマウスを合わせダブルクリックして下さい。

B-1号表

名称 基礎コンクリート工 要素

単位当たり 10.000 単位 m 日当作業量 0.000 水替対象(%) 0

挿入 削除 コピー 貼り付け 単価チェック 新規代価 既存代価 諸雑費率 A代価表へ

No.	名称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	基面整正	m2	5.0000	360.00	1,800.00	S19050
2						
3						
4						

ここをダブルクリックして下さい。

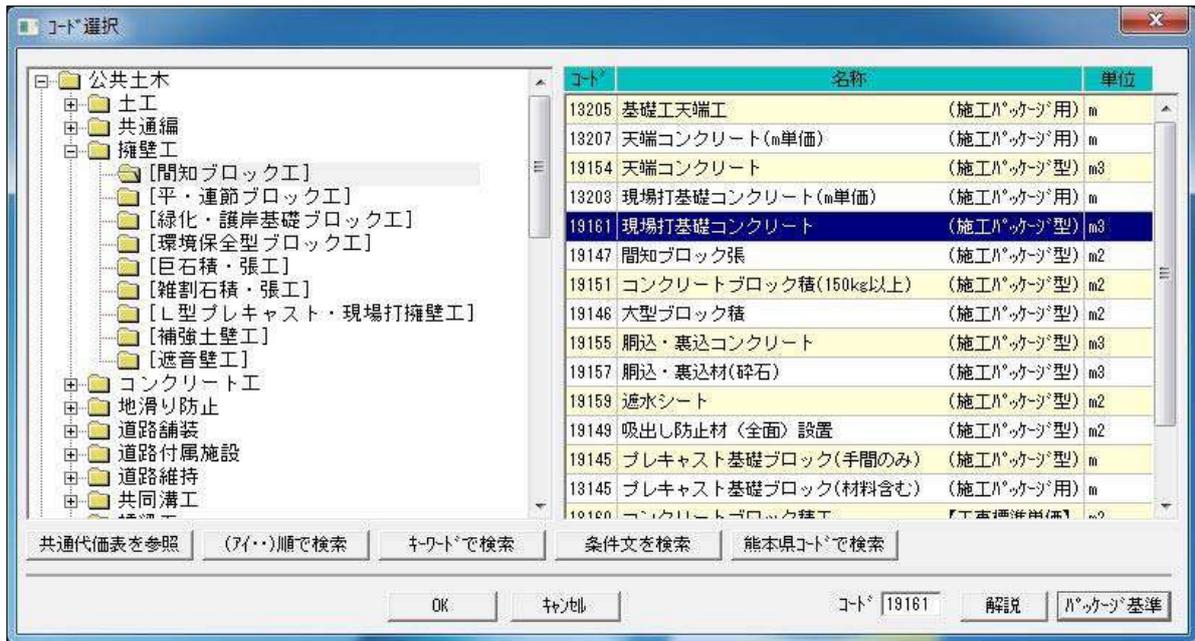
端数調整 0.00 端数調整無し

計 1,800.00

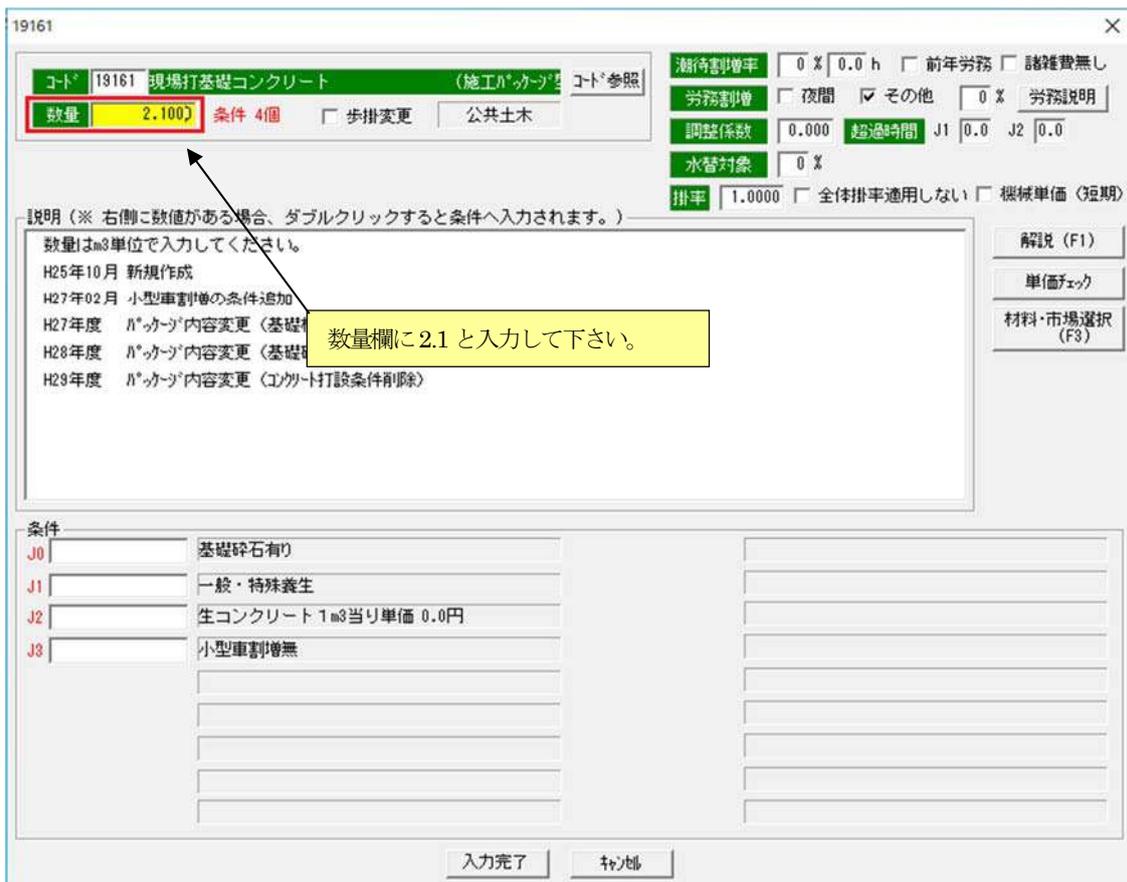
1当たり 180.00

OK キャンセル

下記のコード選択画面が1行目をダブルクリックしたときのように表示されますので、“擁壁工” → “間知ブロック工（施工パッケージ型）” → “19161 現場打基礎コンクリート（施工パッケージ型）”を選択して「OK」ボタンをクリックするかダブルクリックして下さい。



現場打基礎コンクリートの歩掛単価入力画面が表示されますので、数量に“ 2.1 ”と入力して下さい。



これより条件の入力を行いません。条件 **J0** をクリックして下さい。条件内容が表示されますので番号“1”が表示されている箇所をダブルクリックして下さい。条件 **J0** には“1”が自動的に入力されます。

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

基礎碎石の有無(基礎材の計上は無い)

基礎碎石有り0
〃 無し1

※基礎碎石有の場合でも、基礎材の計上はしない

解説 (F1)
単価チェック
材料・市場選択 (F3)

条件

J0	1	基礎碎石無し	
J1		一般・特殊養生	
J2		生コンクリート1m3当り単価 0.0円	
J3		小型車割増無	

入力完了 キャンセル

この表示箇所(無し)をダブルクリックして下さい、すると自動的に条件番号1が入力されます。

同じように **J2** へ“0”を選択して入力します。

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

養生の種類

一般・特殊養生0
養生なし1

※特殊養生は練炭養生

解説 (F1)
単価チェック
材料・市場選択 (F3)

条件

J0	1	基礎碎石無し	
J1	0	一般・特殊養生	
J2		生コンクリート1m3当り単価 0.0円	
J3		小型車割増無	

入力完了 キャンセル

この表示箇所(一般・特殊養生)をダブルクリックして下さい、すると自動的に条件番号0が入力されます。

続いて条件 **J2** の入力です。 **J2** は生コンクリートの1m³当たりの資材単価を **J2** 欄に直接単価を入力して下さい。
 (この例では、14,800円を入力する。)

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

生コンクリート 1m³当り単価
 高炉生コンクリート (K141134018080) **この行をダブルクリックしてください。**
 生コンクリートW/C指定 (K140894182800) **この行をダブルクリックしてください。**

条件説明欄をダブルクリックして資材単価を選択する方法は「8.登録単価使用方法」(P59)で説明します。

条件

J0		基礎砕石有り	
J1		一般・特殊養生	
J2	14800	生コンクリート1m ³ 当り単価 0.0円	
J3		小型車割増無	

ここに直接“14800”と入力する。

入力完了 キャンセル

J3 条件は、コンクリートに割増がある場合入力します。割増がない場合は、入力を省略又は、0番を選択してください。
 上記のように入力が完了したら、**入力完了**ボタンを押します。

歩掛コード” **19161 現場打基礎コンクリート工 (施工パッケージ型)** ”の条件入力完了すると、「代価表」画面に戻り歩掛単価が表示されます。この時点ではまだ2行目にマウスはありますが、この行を抜けると下記画面の **OK** ボタンが有効となりますのでクリックして下さい。

B-1号表

名称 基礎コンクリート工 要素

単位当たり 10.000 単位 m 日当作業量 0.000 水替対象(%) 0

挿入 削除 北?~ 貼り付け 単価チェック 新規代価 既存代価 諸雑費率 A代価表へ北?~

No.	名称 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	基礎整正	m ²	5.0000	360.00	1,800.00	S19050
2	現場打基礎コンクリート 小型車割増無 基礎砕石 有り	m ³	2.1000	61,190.00	128,499.00	S19161
3						
4						

端数調整 1.00 端数調整無し

計 130,300.00

1 m 当たり 13,030.00

OK キャンセル

「代価表画面」より「内訳表入力画面」に戻ります。このとき代価表の数量が” 1 ”と表示されておりますので設計数量を入力して下さい。また、規格、単位等の入力漏れがある場合に、更に入力して下さい。

5		最大埋戻幅4m以上	m ³	90.000	841.10	75,899	S19054
6		土砂等運搬 標準 10tダンプトラック D10無し 積込BH0.80m ³ 土砂 距離2.0km 舗装道(良好)	m ³	350.000	571.60	200,060	S19007
7	法覆工		式			13,200	
8		基礎コンクリート工	m	1.000	13,030.00	13,200	B-1号表
9							

今回の積算例では、設計数量を40とします。

5		最大埋戻幅4m以上	m ³	90.000	841.10	75,899	S19054
6		土砂等運搬 標準 10tダンプトラック D10無し 積込BH0.80m ³ 土砂 距離2.0km 舗装道(良好)	m ³	350.000	571.60	200,060	S19007
7	法覆工		式			521,200	
8		基礎コンクリート工	m	40.000	13,030.00	521,200	B-1号表
9							

代価表の設計数量を必ず入力してください。

※ これで、代価表の入力操作は終了です。

以降の積算例9行目から13行目までは、「5. 歩掛単価」「6. 代価表作成」(P16~P46)で説明してきた入力の繰り返しになります。

9	電動式パイプロハンマ打込 鋼矢板Ⅱ型 打込み2.9m	枚	100			仮設工 → 仮設パイプロハンマ工 S12311
10	鋼矢板単価 長さキスチ無し U型Ⅱ L=3.0m	枚	100			仮設工 → 鋼材費 S10313 139,000円/t
11	コンクリートブロック積工 100m ² 以上 裏コン無し 標準ブロック	m ²	240			擁壁工 → 間知ブロック工(工事標準単価)S18160
12	擁壁工					
13	1号擁壁工 H=1.0 現場打小型擁壁	式	1			別紙第2号表

【9行目の入力】

9行目は、電動式パイロハンマ打込の歩掛単価の算出をします。

【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
電動式パイロハンマ打込 鋼矢板Ⅱ型 打込み3m	枚	100			仮設工 → 仮設パイロハンマ工 S12311

9行目の積算要素欄をダブルクリックし、コード選択画面を表示させます。

“仮設工” → “仮設パイロハンマ工” → “12311 電動式パイロハンマ打込 (幅広・ハット含) H形鋼陸上施工” を選択し、歩掛画面を表示させます。

数量欄に100と入力し、各条件には以下の内容 (積算例より) を入力し ボタンをクリックして下さい。

条件		
J0	0	打込作業
J1	1	鋼矢板Ⅱ型
J2	3	打込長2.9m
J3		
J4		
J5		

※条件 J2 には、打込長又は引抜き長をm単位で直接入力します。

12311

コード 12311 電動式パイロハンマ鋼矢板(幅広・ハット含) H形鋼陸上施工 コード参照

数量 100.0000 条件 6個 歩掛変更 公共土木

漸増率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し

労務割増 夜間 その他 0% 労務説明

調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0

水替対象 0%

掛率 1.000 全体掛率適用しない 機械単価(短期)

説明(※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

数量は枚数単位で入力してください。

H19年度 歩掛変更あり

H17年度 諸雑费率変更。

H19年度 歩掛変更。

H20年度 諸雑费率、一部歩掛変更。

H23年度 大都市補正の場合、日作業量補正有り

H24年度 パイロハンマ運転修正、継施工費とリンク。土地改良システムより起動した場合、単価内訳修正

H28年度 燃料改定。

H29年01月条件J01に説明追加。

H30年度 幅広ハット形45H型 50H型追加。条件画面設定

条件	内容
J0	0 打込作業
J1	1 鋼矢板 II 型(幅400 48.0Kg/m)
J2	3 打込長又は引抜き長を入力 3 m
J3	継施工なし
J4	鋼矢板1枚(H形鋼1本)当り単価 0.0円
J5	排対型第1次基準

【10行目の入力】

10行目は、鋼矢板単価の歩掛単価の算出をします。

【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
鋼矢板単価 長さエキストラ無し U型Ⅱ L=3.0m	枚	100			仮設工 → 鋼材費 S10313

10行目の積算要素欄をダブルクリックし、コード選択画面を表示させます。

“仮設工” → “鋼材費” → “10313 鋼矢板単価 (エキストラ入力タイプ)” を選択し、歩掛画面を表示させます。
数量欄に100と入力し、各条件には以下の内容 (積算例より) を入力し ボタンをクリックして下さい。

条件		
J0	1	U形Ⅱ
J1	3	矢板一枚当たり長さ 3m
J2	1	枚出力
J3	K105106010015	鋼矢板S Y295 U形Ⅱ 139,000 円/ t

※条件 J1 には、矢板一枚当たりの長さをm単位で直接入力します。

※条件 J3 には、本マニュアルの「8. 登録単価使用方法」 (P59) で説明する方法を使って鋼矢板S Y295U形Ⅱの材料単価コードK105106010015を入力します。(資材の単価についてはP4の建設資材単価の表を確認してください)

※条件 J4~J15 は、エキストラの計上がある条件のみ入力。エキストラの計上ない場合は、入力をしないでください。

10313

コード: 10313 鋼矢板単価 (エキストラ入力タイプ) 条件17個

数量: 100.0000

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

数量は t (トン) 又は枚数単位で入力してください。

H21.10 中古品追加
H25.01 スクラップ控除を追加
H25.07 切り揃えエキストラを追加
H26.12 ハット型45,50Hを追加
H27.06 国の場合、単価内訳を t 単位に修正
H29.01 基礎価格は入力しなくても条件J16で決定できるよう修正

条件	内容	条件	内容
J0	1 U形Ⅱ 幅400×高100×厚10.5mm(48.0kg/m)	J9	溶接長さ m
J1	3 矢板1枚当たり長さ 3 m	J10	塗布面積 m2
J2	1 枚出力	J11	新品
J3	K105106010015 鋼矢板 S Y295(月積み契約) U形(Ⅱ、Ⅲ) 135000.0F	J12	スクラップ長 m
J4	規格エキストラ t 当り単価 0.0円	J13	スクラップ H1単価 0.0円
J5	寸法エキストラ t 当り単価 0.0円	J14	発注機関が国の場合
J6	形状エキストラ t 当り単価 0.0円	J15	寸法(500mm以下以外)エキストラ t 当り単価 0.0F
J7	加工エキストラ m 当り単価 0.0円	J16	
J8	重防食エキストラ m2 当り単価 0.0円	J17	
		J18	

入力完了

【11 行目の入力】

11 行目は、コンクリートブロック積工の歩掛単価の算出をします。

【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
コンクリートブロック積工 練積み 昼間 裏込め無し 標準ブロック 制約無し	m2	240			擁壁工 → 間知ブロック工 S18160 コンクリートブロック積工(工事標準単価)

11 行目の積算要素欄をダブルクリックし、コード選択画面を表示させます。

“擁壁工” → “間知ブロック工” → “1 8 1 6 0 コンクリートブロック積工 (土木工事標準単価)” を選択し、歩掛画面を表示させます。数量欄に240 と入力し、各条件には以下の内容 (積算例より) を入力し ボタンをクリックして下さい。

条件		
J0	0	練積み
J1	0	裏込めコンクリート無し
—	—	
J3	K141134018080	生コンクリート高炉B-18-8-40 14,300 円/m3
J4	4,480	ブロック単価入力
J5		入力無し
J6	0	昼間施工
J7	0	時間的制約無し
J8	0	各発注機関に合わせて選定

※条件 J3 には、本マニュアルの「8. 登録単価使用方法」 (P59) で説明する方法を使って生コンクリートの材料単価コードを入力します。(資材の単価についてはP4 の建設資材単価の表を確認してください)

18160
×

コード 18160 **コンクリートブロック積工** 【工事標準単価】 コード参照

数量 240.0000 条件 9個

歩掛変更

公共土木

潮待割増率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し

労務割増 夜間 その他 0% 労務説明

調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0

水替対象 0%

掛率 1.0000

全体掛率適用しない 機械単価 (短期)

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

数量はm2単位で入力してください。
 H30年度 新規作成
 H30年08月 週休2日追加、宮崎県の場合、材料データより計算するよう修正。鹿児島県発注の場合、胴込め量を2.13へ修正
 H30年10月 宮崎県土地改良の場合、有効数字3桁へ修正
 H31年01月 条件J4に差額計算例を追加
 R02年02月 熊本・鹿児島県の土地改良の場合、補正後の単価は有効数字4桁に修正
 R02年04月 市場単価改定 (ブロック材料を計上するよう改定)

条件	値	説明
J0	0	練積み
J1	0	裏込めコンクリート無
J3	14800	生コンクリート1m3当り単価 14800.0円
J4	4480	コンクリートブロック1m2当り単価 4480.0円
J5		変更胴込めコンクリート量 m3
J6		昼間施工
J7		時間的制約無し
J8		第4位四捨五入第3位止め

【12行目の入力】

12行目は、工種の入力です。12行目の工種の列をダブルクリックして「擁壁工」と入力してください。

No.	費目	工区	工程	種別	細別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
11							コンクリートブロック積工 屋 [手間] ブロック積工 時間的制約なし 練積裏込なし 裏込工厚= 0cm 胴込Co量標準	m2	240.000	18,920.00	4,540,800	S18160
12							擁壁工	式				0

【13行目の入力】

13行目は、1号擁壁工の単価を、代価表作成で算出をします。（「6.代価表作成」P39～46 参照）

【積算例】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
1号擁壁工 H=1.0 現場打小型擁壁	式	1			別紙代2号表

【代価表の内容】

第 2 号 表 1号擁壁工 1式当たり 単価表						
費目・名称	規格	単位	員数	単価	金額	摘要
1 掘削 押土無し 障害無し	土砂 オープンカット 5,000m3未満	m3	23			土工→機械掘削工 S19004
2 積込土(ルーズ)	土砂 BH山積0.8m3	m3	8			土工→機械掘削工 S19038
3 埋戻し	土砂 現場制約 締固め	m3	7			土工→埋め戻し工 S19054
4 土砂運搬	DT10t 積込BH0.6m3 2km DID区間無 舗装路	m3	15			土工→機械運搬工 S19007
5 基面整正		m2	47			土工→人力土工 S19050
6 小型擁壁工 基礎有均し無	H=1.0 生コン18-8-40	m3	1.5			擁壁工→L型プレキャスト・ 現場打擁壁工 S19160
計						
1式当たり						

13行目の行にカーソルを移動し画面上部の代価表ボタンをクリックし、代価表入力画面（この積算例ではB-2号表）を表示させます。名称、規格、単位当たり、単位の各入力欄に以下の内容を入力して下さい。（P40 参照）

項目	入力内容(値)	備考
名称	1号擁壁工	
要素	H=1.0 現場打小型擁壁	
単位当たり	1	
単位	式	

名称、要素、単位当たり、単位の各項目を上記のように入力して下さい。

The screenshot shows a software window titled 'B-1号表'. It contains several input fields:

- 名称 (Name):** 1号擁壁工
- 要素 (Element):** H1.0 現場打小型擁壁
- 単位当たり (Per Unit):** 1.000
- 単位 (Unit):** 式
- 日当作業量 (Daily Workload):** 0.000
- 水替対象 (%) (Water Replacement Target %):** 0

 A red box highlights the Name, Element, and Unit fields, and a yellow callout box points to them with the instruction: '名称、要素、単位当たり、単位の各項目を上記のように入力して下さい。'

【B-2号表1行目の入力】

※P40～45 参照。以下2～6行目も同様。

【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
掘削 押土無 障害無 土砂 オープンカット 5,000m3 未満	m3	23			土工—機械掘削工 S19004

B-2号表1行目の名称・規格欄をダブルクリックし、コード選択画面を表示させます。

“土工” → “機械掘削工” → “19004 掘削 (施工パッケージ型)” を選択し、歩掛画面を表示させます。

数量欄に23 と入力し、各条件には以下の内容 (積算例より) を入力し **入力完了** ボタンをクリックして下さい。

条件		
J0	0	土砂
J1	0	オープンカット
J3	1	押土無し
J4	0	障害無し
J5	4	5,000m3 未満

19004

コード: 19004 掘削 (施工パッケージ型) コード参照

数量: 23.0000 条件: 12個

歩掛変更 公共土木

滞待率増率: 0% 0.0h 前年労務 諸雑費無し

労務割増: 夜間 其他 0% 労務説明

調整係数: 0.000 超過時間: J1 0.0 J2 0.0

条件	値	内容
J0	0	土砂
J1	0	オープンカット
J3	1	押土(無)
J4	0	障害(無)
J6	2	5,000m3未満

入力完了 転記

【B-2号表2行目の入力】

【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
積込土(ルーズ) 土砂 50,000m3 未満	m3	8			土工—機械掘削工 S19038

B-2号表2行目の名称・規格欄をダブルクリックし、コード選択画面を表示させます。

“土工” → “機械掘削工” → “19038 積込土 (ルーズ) (バック材) (施工パッケージ型)” を選択し、歩掛画面を表示させます。

数量欄に8 と入力し、各条件には以下の内容 (積算例より) を入力し **入力完了** ボタンをクリックして下さい。

条件		
J0	0	土砂
J1	0	50,000m3 未満

19038

コード: 19038 積込土(ルーズ) (施工パッケージ型) コード参照

数量: 8.0000 条件: 2個

歩掛変更 公共土木

滞待率増率: 0% 0.0h 前年労務 諸雑費無し

労務割増: 夜間 其他 0% 労務説明

調整係数: 0.000 超過時間: J1 0.0 J2 0.0

条件	値	内容
J0	0	土砂
J1	0	土量 50,000m3未満

入力完了

【B-2号表代価表3行目の入力】

【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
埋戻し 土砂 現場制約 締固め	m3	7			土工→埋め戻し工 S19054

B-2号表3行目の名称・規格欄をダブルクリックし、コード選択画面を表示させます。

“土工” → “埋め戻し工” → “19054 埋め戻し (施工パッケージ型)” を選択し、歩掛画面を表示させます。
数量欄に7と入力し、各条件には以下の内容 (積算例より) を入力し **入力完了** ボタンをクリックして下さい。

条件		
J0	5	現場制約有
J1	0	土砂
J2	0	締固め有

19054 ×

コード	19054 埋戻し	(施工パッケージ型)	コード参照
数量	1.0000	条件 3個	<input type="checkbox"/> 歩掛変更 <input type="checkbox"/> 公共土木

滞待割増率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し
 労務割増 夜間 その他 0% 労務説明
 調整係数 0.000 超過時間 J1 | 0.0 J2 | 0.0

条件	値	説明
J0	5	現場制約あり
J1	0	土砂
J2	0	締固め有り

【B-2号表代価表4行目の入力】

【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
土砂運搬 DT10t 積込BH0.6m3 2km DID 区間無 舗装路	m3	15			土工→機械運搬工 S19022

B-2号表4行目の名称・規格欄をダブルクリックし、コード選択画面を表示させます。

“土工” → “機械運搬工” → “19007 土砂運搬ダンプトラック (施工パッケージ型)” を選択し、歩掛画面を表示させます。
数量欄に15と入力し、各条件には以下の内容 (積算例より) を入力し **入力完了** ボタンをクリックして下さい。

条件		
J0	0	標準
J1	0	バックホ積込0.80m3(平積0.60m3)
J2	0	土砂
J3	0	DID 区間無
J4	2	運搬距離 2 km

19007 ×

コード	19007 土砂等運搬 ダンプトラック新	(施工パッケージ型)	コード参照
数量	15.0000	条件 5個	<input type="checkbox"/> 歩掛変更 <input type="checkbox"/> 公共土木

滞待割増率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し
 労務割増 夜間 その他 0% 労務説明
 調整係数 0.000 超過時間 J1 | 0.0 J2 | 0.0

条件	値	説明
J0	0	標準
J1	0	バックホ積込0.80m3[平積0.60m3]
J2	0	土砂(岩塊・玉石混り土含む)
J3	0	DID区間無し
J4	2	運搬距離 2 km

【B-2号表代価表5行目の入力】

【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
基面整正	m ²	47			土工→人力土工 S19050

B-2号表5行目の名称・規格欄をダブルクリックし、コード選択画面を表示させます。

“土工” → “人力土工” → “19050 基面整正（施工パッケージ型）” を選択し、歩掛画面を表示させます。
数量欄に47と入力し、**入力完了** ボタンをクリックして下さい。※基面整正には条件の入力項目はありません。

19050 ×

コード	19050	基面整正	(施工パッケージ型)	コード参照	<input type="checkbox"/> 前年労務 <input type="checkbox"/> 諸雑費無し <input type="checkbox"/> 夜間 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 労務説明
数量	47.0000	条件無し	<input type="checkbox"/> 歩掛変更	公共土木	調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0

【B-2号表代価表6行目の入力】

【入力内容】

費目・工種・種別・細別・規格	単位	員数	単価	金額	摘要
小型擁壁工 基礎有 均し無 H=1.0 18-8-40	m ³	1.5			擁壁工→L型フレキャスト・現場打擁壁工 S19160

B-2号表6行目の名称・規格欄をダブルクリックし、コード選択画面を表示させます。

“擁壁工” → “L型フレキャスト・現場打擁壁工” → “19160 小型擁壁（A）（施工パッケージ型）” を選択し、歩掛画面を表示させます。数量欄に1.5と入力し、各条件には以下の内容（積算例より）を入力し **入力完了** ボタンをクリックして下さい。

条件		
J0	2	0.8以上1.0以下
J1	1	基礎砕石有
J2	0	均しコンクリート無し
J3	0	一般・特殊養生
J4	K141134018080	生コンクリート高炉B-18-840 14,800円/m ³
J5	0	小型車割増無し

※条件 J4 には、本マニュアルの「8.登録単価使用方法」(P)で説明する方法を使って生コンクリートの材料単価コードを入力します。（資材の単価についてはP4の建設資材単価の表を確認してください）

19160 ×

コード	19160	小型擁壁(A)	(施工パッケージ型)	コード参照	<input type="checkbox"/> 前年労務 <input type="checkbox"/> 諸雑費無し <input type="checkbox"/> 夜間 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 労務説明
数量	1.0000	条件 6個	<input type="checkbox"/> 歩掛変更	公共土木	調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0

条件		
J0	2	0.8m以上1.0m以下
J1	1	基礎砕石有
J2	1	均しコンクリート有
J3	0	一般・特殊(練炭)養生
J4	K141134018080	レディーキャストコンクリート高炉 18-8-40 BB 14800.0円
J5	0	小型車割増無し

下図のように1～6行目までの歩掛の入力が完了したら、**OK** ボタンをクリックします。

B-1号表

名称: 1号擁壁工 要素: H=1.0 現場打小型擁壁

単位当たり: 1.000 単位: 式 日当作業量: 0.000 水替対象(X): 0

挿入 削除 北° 貼り付け 単価チェック 新規代価 既存代価 諸雑费率 A代価表へ北°

No.	名称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	掘削 土砂-オープンカット-押土(無) 障害(無)-5,000m3未満	m3	23.0000	296.60	6,821.80	S19004
2	積込土(ルーズ) バックホ山積0.8m3 土砂 土量50,000m3未満	m3	8.0000	190.60	1,524.80	S19038
3	埋戻し 土砂 締固め有り 現場制約あり	m3	1.0000	5,523.00	5,523.00	S19054
4	土砂等運搬 標準 10tダンプトラック DID無し 積込BH0.80m3 土砂 距離2.0km 舗装道(良好)	m3	15.0000	565.90	8,488.50	S19007
5	基面整正	m2	47.0000	360.00	16,920.00	S19050
6	小型擁壁(A) 基礎碎石有 均し工有 小型車無 0.8m≤H≤1.0m 一般・特殊(練炭)養生 レディミキストコンクリート 高炉 18-8-40 BB	m3	1.5000	74,090.00	111,135.00	S19160
7						

端数調整: 0.00 端数調整無し

計: 150,413.10

1当たり: 150,413.10

OK キャンセル

内訳表入力画面に戻りますので、設計数量を確認して数量を入力します。

12	擁壁工	式			150,413	
13	1号擁壁工 H=1.0 現場打小型擁壁	式	1.000	150,413.10	150,413	B-2号表

これで、積算例1 3行目までの入力が終了しました。

10	鋼矢板単価(新品) 長さ14.5m U形H幅400×高100×厚10.5mm L=3.00m 枚 スラップ控除長0.00m		100.000	20,020.00	2,002,000	S10313
11	コンクリート積積工 昼間施工 [材工共] アロウ積工 時間の制約なし 練灰裏込工 裏込工厚= 0cm 胸込工量標準	m2	240.000	18,280.00	4,375,200	S18180
12	擁壁工	式			170,113	
13	1号擁壁工 H=1.0 現場打小型擁壁	式	1.000	170,113.20	170,113	B-2号表
14						

7. 直接工事費及び共通仮設費の入力

直接工事費の入力は積算例の13行目までで終了です。14行目からは、共通仮設費の入力です。
14行目の費目欄でダブルクリックして下さい。

13		1号擁壁工								
		H1.0 現場打小型擁壁								式
14		ダブルクリックで費目入力（「直接工事費」入力後、間接経費画面が表示されます）								
15										

下記画面が表示されますので「...」ボタンをクリックして、直接工事費と入力する。

13		1号擁壁工								
		H1.0 現場打小型擁壁								式
14		...								
15										

直接キーボードで入力するか、登録文字を参照する。

14		直接工事費								...
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	-----

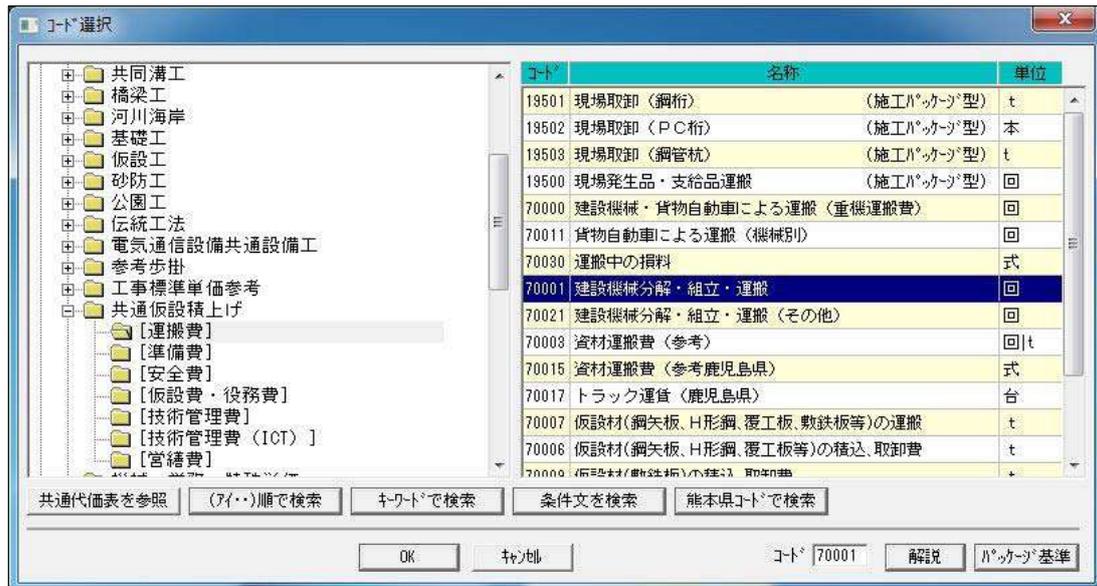
14行目の費目欄に”直接工事費”と入力すると14行目から共通仮設費以降の項目が全て自動表示されます。

最後の入力となる積算例18行目のクローラクレーン油圧式50t吊分解組立の歩掛単価を算出します。

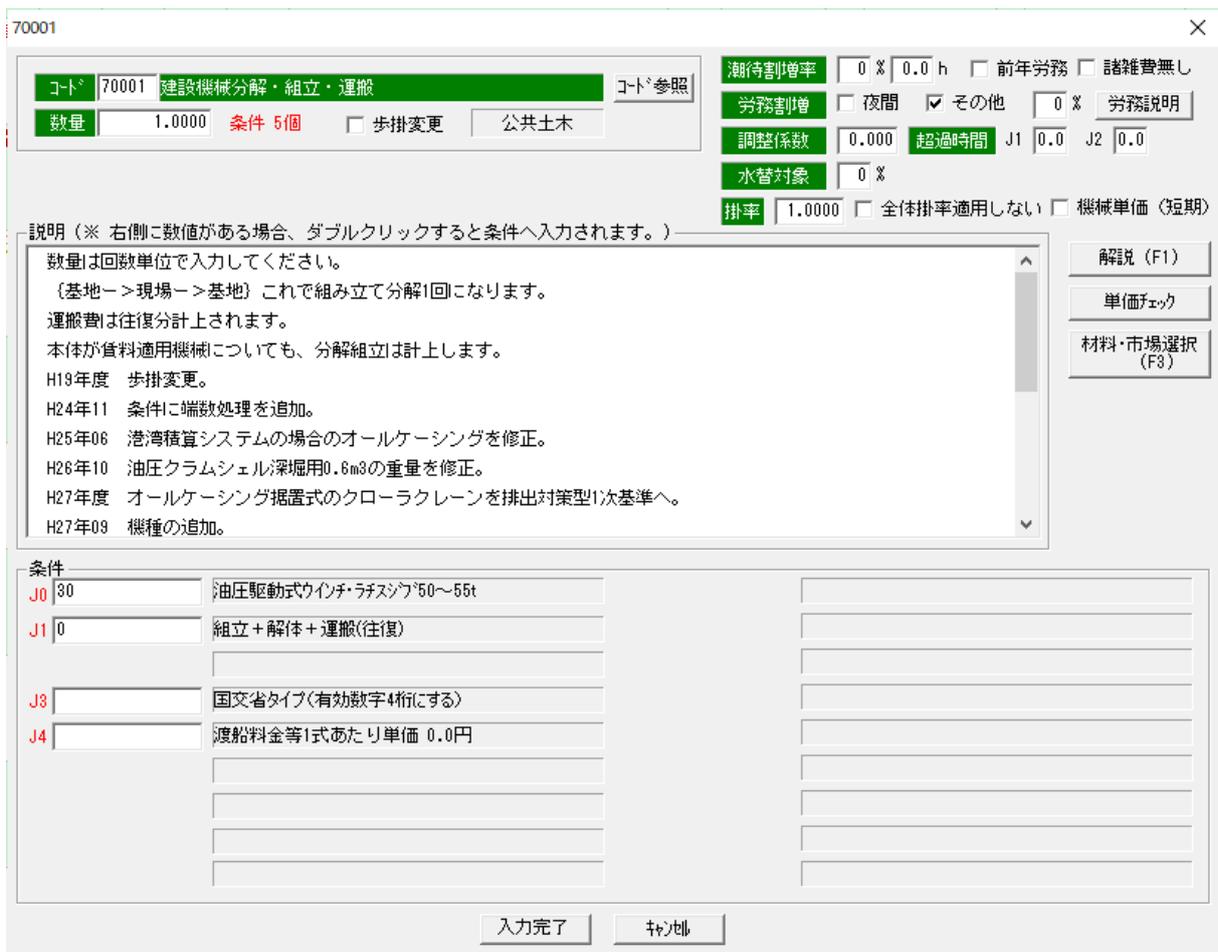
No.	費目	工区 I/A'1	工程 I/A'2	種別 I/A'3	細別 I/A'4	規格 I/A'5	積算要素 I/A'6	単位	数量	単価	金額	備考
14	直接工事費							式			0	
15	共通仮設費										0	
16	共通仮設費										0	
17	運搬費										0	
18	準備費										0	
19	事業損失防止施設費										0	
20	安全費										0	
21	後務費										0	
22	技術管理費										0	
23	管轄費										0	
24	仮設費										0	
25	純工事費										0	
26	積上分										0	
27	工事原価										0	
28	一括計上										0	
29											0	

直接工事費と入力すると、共通仮設費以降の項目が自動挿入される。

「コード選択画面」が表示されますので、“共通仮設積上げ” → “運搬費” → “70001 建設機械分解・組立・運搬”の順に選択して **OK** ボタンをクリックするかダブルクリックして下さい。



歩掛コード” 70001 建設機械分解・組立・運搬”の「歩掛単価画面」が表示されますので、数量欄に” 1”を入力し、条件 J0 に”30”、条件 J1 に”0”、条件 J2、J3 は” ”を入力し **入力完了** ボタンをクリックして下さい。



以下のとおり建設機械分解・組立・運搬 クローラークレーン油圧式50t吊の1回当たり単価が自動的に算出されます。

No.	科目	工区 区分	工種 区分	種別 区分	種別 区分	規格 区分	積算要素 区分	単位	当座(R02.04国)			備考
									02集本県	01集本	13集本県	
14	直接工事費							式			6,159,110	
15	共通仮設費										0	
16	共通仮設費										0	
17	運搬費										0	
18	重建設機械分解組立運搬費							式			0	
19							建設重機械分解組立運搬 端数整理(国交省型有効数字4桁) クローラークレーン油圧式50~55t	回	1.000	834,800.00	834,800	870001
20	準備費										0	
21	事業損失防止施設費										0	
22	安全費										0	

積算例の入力は、これですべて終了です。

工事価格を確認したい場合は、本マニュアルの「15-6-1 再計算」(P77)を参照ください。

No.	科目	工区 区分	工種 区分	種別 区分	種別 区分	規格 区分	積算要素 区分	単位	当座(R02.04国)			備考
									02集本県	01集本	13集本県	
14	直接工事費							式			6,895,710	
15	共通仮設費										834,800	
16	共通仮設費										834,800	
17	運搬費										834,800	
18	重建設機械分解組立運搬費							式			834,800	
19							建設重機械分解組立運搬 クローラークレーン油圧式50~55t	回	1.000	834,800.00	834,800	870001
20	準備費										0	
21	事業損失防止施設費										0	
22	安全費										0	
23	債務費										0	
24	技術管理費										0	
25	管轄費										0	
26	仮設費										0	
27	純工事費										0	
28	積上分										0	
29	工事原価										0	
30	一括計上										0	
31												
32												
33												
34												
35												

8. 登録材料単価使用方法

歩掛単価を算出する場合、条件に資材単価または市場単価の入力が必要なあらかじめ材料単価及び市場単価が登録されている場合には、各歩掛コードの「材料単価入力画面」において条件説明の「この行をダブルクリックしてください」を実施するかまたは、**材料・市場選択** ボタンをクリックして登録した材料単価及び市場単価のコードを選択することで資材単価を入力できます。
(材料単価・市場単価は出荷時に標準装備してあります。特殊な単価については見積等を徴収しご登録ください)

では、本マニュアルP45 で説明いたしました歩掛コード“19161 現場打基礎コンクリート工 (施工パッケージ型)” の単価算出条件 J2 の入力で、材料単価等が登録されていた場合の操作方法について説明します。

以下の条件 J2 の入力時に説明が表示されている箇所をダブルクリックするか又は、**材料・市場選択** ボタンをクリックしてください。

19161

コード 19161 現場打基礎コンクリート (施工パッケージ型) コード参照

数量 1.0000 条件 4個 歩掛変更 公共土木

説明 (* 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

生コンクリート1m3当り単価

高炉生コンクリート (K141134018080) この行をダブルクリックしてください。

生コンクリートW/C指定 (K140894182800) この行をダブルクリックしてください。

材料・市場選択 (F3)

条件

J0	1	基礎砕石無し
J1	0	一般・特殊養生
J2		生コンクリート1m3当り単価 0.0円
J3		小型車割増無し

入力完了 キャンセル

下記の「材料選択画面」が表示されますので該当する材料コード (K141132518080 生コンクリート高炉B18-8-40) をダブルクリックするか材料コードをクリック後、**OK** ボタンをクリックして下さい。(なお、頭文字Aから始まる材料番号は県毎に異なります)

材料単価設定

[H30.04国] 単価 [01熊本]

コード	名称	規格	単位	単価
K141132545080	生コンクリート 高炉	45-8-20(25) BB	m ³	19,900.0
K141132545100	生コンクリート 高炉	45-10-20(25) BB	m ³	19,900.0
K141132545120	生コンクリート 高炉	45-12-20(25) BB	m ³	19,900.0
K141132545150	生コンクリート 高炉	45-15-20(25) BB	m ³	19,550.0
K141132545180	生コンクリート 高炉	45-18-20(25) BB	m ³	19,550.0
K141132545210	生コンクリート 高炉	45-21-20(25) BB	m ³	20,100.0
K141134018050	生コンクリート 高炉	18-5-40 BB	m ³	14,300.0
K141134018080	生コンクリート 高炉	18-8-40 BB	m ³	14,300.0
K141134018100	生コンクリート 高炉	18-10-40 BB	m ³	14,300.0
K141134018120	生コンクリート 高炉	18-12-40 BB	m ³	14,300.0
K141134018150	生コンクリート 高炉	18-15-40 BB	m ³	14,400.0
K141134021050	生コンクリート 高炉	21-5-40 BB	m ³	14,800.0
K141134021080	生コンクリート 高炉	21-8-40 BB	m ³	14,800.0
K141134021100	生コンクリート 高炉	21-10-40 BB	m ³	14,800.0
K141134021120	生コンクリート 高炉	21-12-40 BB	m ³	14,800.0
K141134021150	生コンクリート 高炉	21-15-40 BB	m ³	14,900.0
K141134024050	生コンクリート 高炉	24-5-40 BB	m ³	15,200.0

OK キャンセル 支給品 キーワード検索

以下の歩掛単価画面に戻り条件 J2 には「材料選択画面」で選択した材料単価コード(K141134018080)が入力され、その右側に、材料名と単価が表示されます。単価算出時には、この入力された材料コードに登録されている単価を基に歩掛単価が自動的に算出されます。

19161

コード 19161 現場打基礎コンクリート (施工パッケージ) コード参照

数量 1.0000 条件 4個 歩掛変更 公共土木

遅待割増率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し

労務割増 夜間 その他 0% 労務説明

調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0

水管対象 0%

掛率 1.000 全体掛率適用しない 機械単価 (短期)

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

生コンクリート 1m3当り単価

高炉生コンクリート (K141134018080) この行をダブルクリックしてください。

生コンクリートW/C指定 (K140894182800) この行をダブルクリックしてください。

条件

J0	1	基礎碎石無し
J1	0	一般・特殊養生
J2	K141134018080	レディーキャストコンクリート 高炉 18-8-40 BB 14300
J3		小型車割増無し

解除 (F1)

単価チェック

材料・市場選択 (F3)

入力完了 キャンセル

以上のように歩掛単価算出時の条件に材料単価等を入力する場合には、あらかじめ使用する材料単価を登録しておけば「材料選択画面」より該当コードを選択することにより単価の入力が可能となります。このメリットとして多くの歩掛で同じ材料単価を入力していて材料単価を変更したい場合には、登録されている材料単価を変更し、再計算機能を使用すれば修正ミスがなく迅速、正確に変更可能です。

9. 単価チェック

単価を算出した歩掛コードの歩掛内容を確認したい場合には、その歩掛コード（行）にマウスを合わせ「単価チェック」のボタンをクリックすると該当歩掛の内容が表示されます。それでは、以下の画面の4行目に入力している歩掛コード”19004 掘削積込 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満”の歩掛内容を表示してみましょう。

4行目をクリックして「単価チェック」ボタンをクリックして下さい。

No.	費目	区別	工程	種別	種別	規格	積込要率	単位	数量	単価	金額	備考
1	本工事費											
2	架受・護岸							式			8,159,110	
3	土工							式			415,897	
4						掘削 土砂-オープンカット 障害無し 5,000m3未満		m3	480.000	300.30	189,186	19004
5						埋戻し 最大埋戻幅4m以上		m3	90.000	841.10	75,699	19054
6						土砂等運搬 標準 10tダンプトラック DID無し 積込EHD.80m3 土砂 距離2.0km		m3	350.000	571.80	200,060	19007

以下のとおり歩掛の内訳が表示されます。印刷したい場合には、「印刷」ボタンをクリックして下さい。

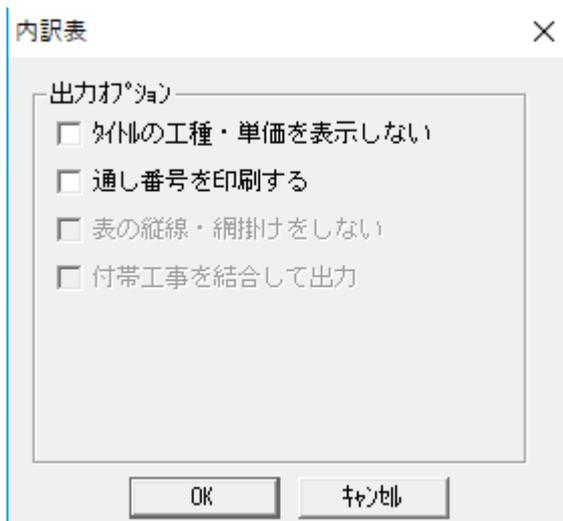
19004 掘削 1.0m3当たり単価 障害(無) - 5,000m3未満		労務単価 (R02.03)	
規格	構成比(%)	東京(H31.04)	熊本県(R02.04国)
K	47.87		
K 1	47.87	21,300.0	21,200.0
R	33.41		
R 1	33.41	23,800.0	20,800.0
Z	18.72		
Z 1	18.72	117.0	118.0
P' (熊本県(R02.03)) = 309.80000 ×			
[(47.87/100 × 21,200/21,300) × 47.87/(47.87)]			
+(33.41/100 × 20,800/23,800) × 33.41/(33.41)			
+(18.72/100 × 118/117) × 18.72/(18.72)			
+(100-47.87-33.41-18.72-0)/100=296.55268 ≈ 296.6			

10. 内訳表の印刷

共通仮設費以後の率による計算はすべて自動計算されます。直接工事費及び共通仮設費のうち積み上げ入力終了した場合、「内訳表入力画面」の上部に表示されております「経費印刷 (K)」をクリックします。



この中の「内訳表 (U)」を更にクリックしてください。次の画面が表示されます。



ボタンをクリックして下さい。
内訳表が表示されます。

工事区分・工種・種別・細別・規格		単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費						
造陸・護岸		式	1		8,187,408	
土工		式	1		8,187,408	
		式	1		412,196	
掘削 土砂-ネアウカホ 降着無し 5,000m ³ 形高		m ³	450,000	296.60	136,428	S19004
埋戻し 最大埋戻高4m以上		m ³	90,000	941.10	76,698	S19054
土砂等運搬(標準 10tダンプトラック) D/D無し 積込0.90m ³ 土砂 距離2.0km 舗装道(良好)		m ³	350,000	571.60	200,660	S19007
法要工		式	1		7,584,000	
基礎コンクリート工		m	40,000	19,030.00	821,200	B-1号表
電動式ワイロハンマ打込 継施工なし 鋼矢板Ⅱ型打込長3,000m		枚	100,000	5,900.00	590,000	S12911

- 1 -

会社名未登録

※現在表示されている画面の次のページを表示させたい場合には、**次頁>>** ボタンを押して下さい。

前ページに戻る場合には、**<<前頁** ボタンを押して下さい。

最終ページを表示させたい場合は、**最終>** ボタンを押して下さい。

先頭ページを表示させたい場合は、**<先頭** ボタンを押して下さい。

<<前頁	前ページへ戻る
次頁>>	次ページへ移動
<先頭	先頭ページへ移動
最終>	最終ページへ移動

※上記の出力画面でのページ移動方法は、すべての出力画面に共通しております。

印刷したい場合には、画面上の**印刷** ボタンをクリックしてください。次の画面になります。

印刷 [X]

プリンター

プリンター名(N): RICOH SP C648 JPN RPCS [プロパティ(P)...]

状態: 準備完了

種類: RICOH SP C648 JPN RPCS

場所: IP_192.168.0.55

コメント: RPCS Driver (For Windows) ファイルへ出力(L)

印刷範囲

すべて(A)

ページ指定(G) ページから(F) ページまで(T)

選択した部分(S)

印刷部数

部数(C):

部単位で印刷(O)

1 1 2 2 3 3

OK キャンセル

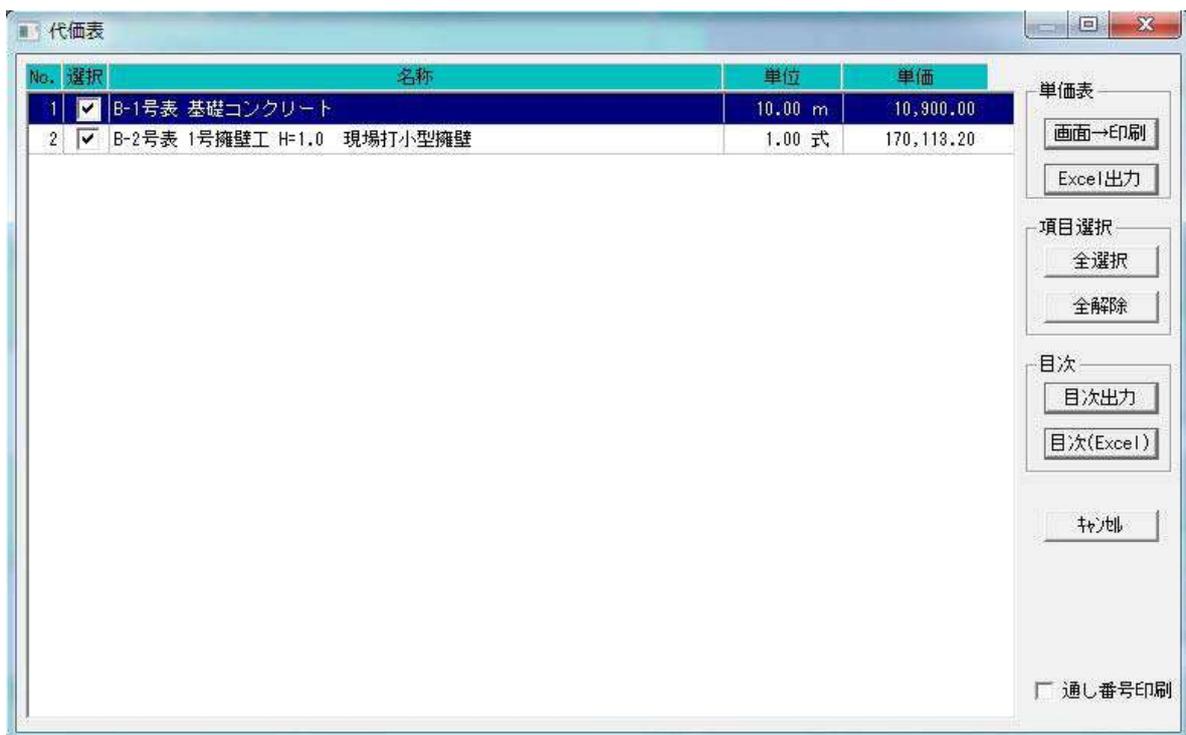
1.1. 代価表の印刷

代価表の出力は、「内訳表入力画面」上部の「各種集計 (P)」をクリックします。



この中の「代価表 (D)」を更にクリックしてください。

作成した代価表の一覧が表示されます。代価表の左側に表示されているチェック欄にチェックマークが表示されているものが出力対象となりますので、出力したい代価表を選択して下さい。



※代価表を作成していない場合は何も表示されません。

※代価表の出力対象から外す場合には、チェック欄をクリックしマークを消して下さい。

※初めて印刷する場合または、全ページ印刷する場合には、そのまま「画面・帳票」をクリックして下さい。

1 2. 積算データの保存

積算データの保存には「名前を付けて保存 (A) 」と「上書き保存 (S) 」の2つの方法があります。

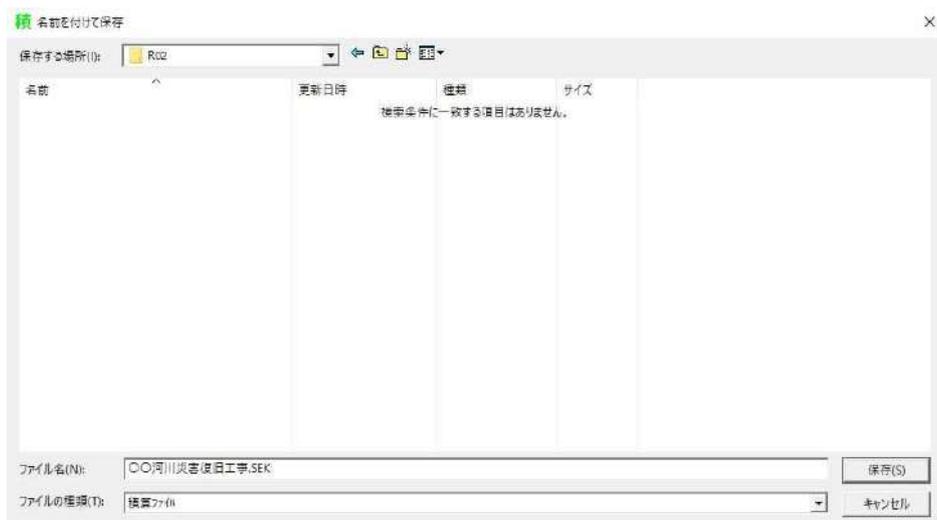
1 2-1 新規保存 (「名前を付けて保存 (A) 」)

新たに積算データを保存する場合には、「内訳表入力画面」の「ファイル (F) 」の中の「名前を付けて保存 (A) 」にマウスを合わせクリックして下さい。



下記画面が表示されますので保存する場所を画面上部の「保存する場所」欄にて確認後、画面右下の「保存 (S) 」ボタンをクリックしてください。

これで積算データは保存されます。



※保存場所の初期設定は、C:\YSEKIDAT\YR02 に保存されます。

※保存するファイル名は、「工事条件」の工事名称欄にて入力した工事名称がファイル名となります。

1 2 - 2. 上書き保存

すでに保存されている積算データ名にて上書きして保存します。「内訳表入力画面」の「ファイル (F)」の中の「上書き保存 (S)」にマウスを合わせクリックしてください。



下記画面が表示されますので ボタンをクリックして下さい。



これで、積算データは保存されます。

1.3. 積算データの読み込み

保存済の積算データの読み込みを行います。積算データの読み込みは、「ファイル (F)」の中の「開く (O)」をクリックしてください。以下の画面が表示されます。



以下の画面が表示され、画面に保存されている積算データの名称が表示されますので、該当する積算データにマウスを合わせてダブルクリックするか、または該当の積算データ名にマウスを合わせクリックさせてから画面右下の「開く (O)」のボタンをクリックしてください。



※ 画面上部に表示されている“ファイルの場所”と実際の読み込み場所が異なる場合には、“ファイルの場所”欄の右側にある▼のボタンにマウスを合わせクリックし該当するファイルの保存場所を変更してください。

※ システムをインストールした時点では、積算データの読み込み及び保存先は以下のとおりです。

C : ¥SEKIDAT¥ROO : 〇〇は年度を表す (公共土木の場合)

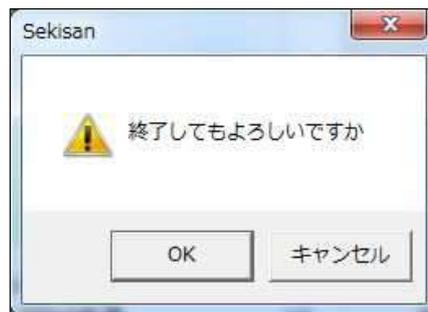
積算データのファイル読み込み (保存) 先を変更する場合には、「設定 (S)」の中の「システム設定 (S)」内の「フォルダ登録」タブ内のデータ欄に該当のパスを指定することにより変更できます。

14. システムの終了

システムを終了する場合には、以下の「内訳表入力画面」の右上の  のボタンをクリックするか、画面左上の「ファイル (F)」を開きその中の「アプリケーションの終了 (X)」をクリックしてください。



以下の「積算システム終了」確認画面が表示されますので、 ボタンをクリックしてください。



以下のメニュー画面が表示されますので、画面右上の **×** のボタンをクリックするか、または画面下の **終了** ボタンをクリックして終了してください。これで積算システムの操作は終了です。



15. その他の機能

15-1. ヘルプ機能

ヘルプ機能は、システムの機能及び操作方法等の説明を簡単に参照することが出来ます。参照方法は、以下のとおり。

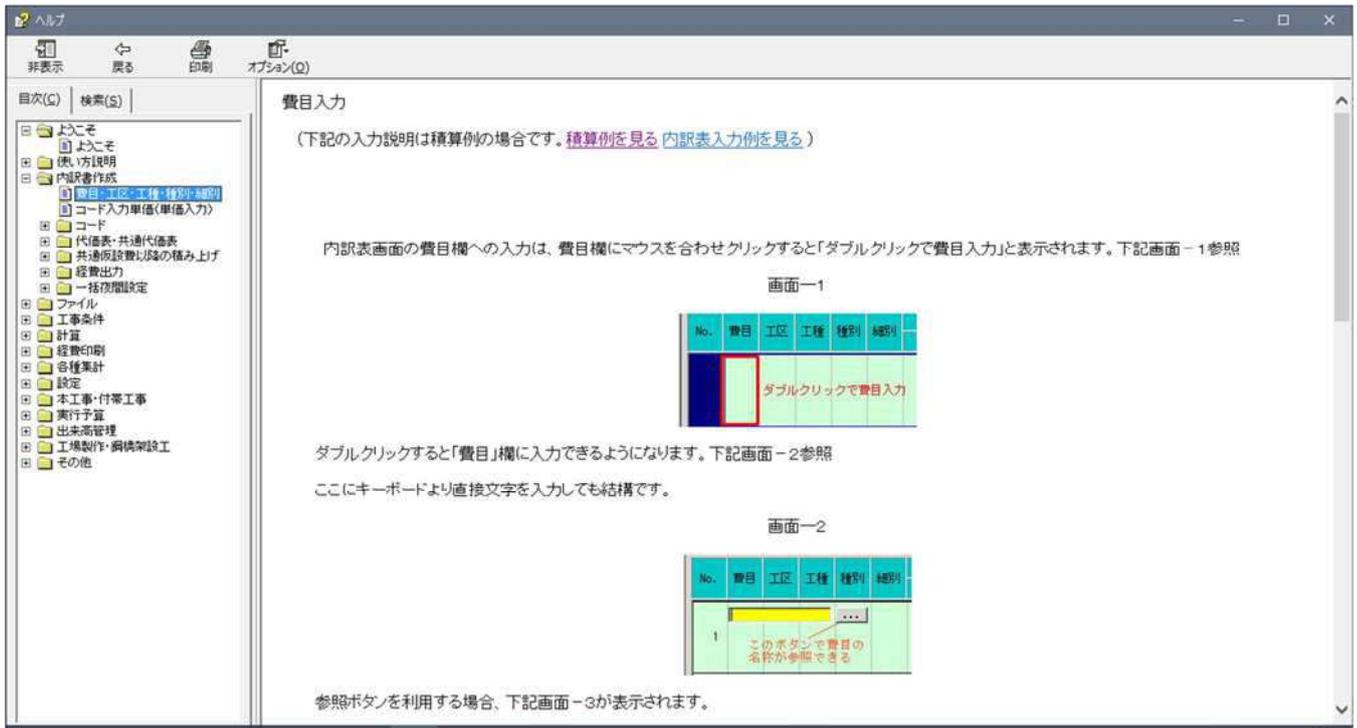
「内訳表入力画面」上部の「ヘルプ (H)」にマウスを合わせその中の「ヘルプ (H)」をクリックして下さい。



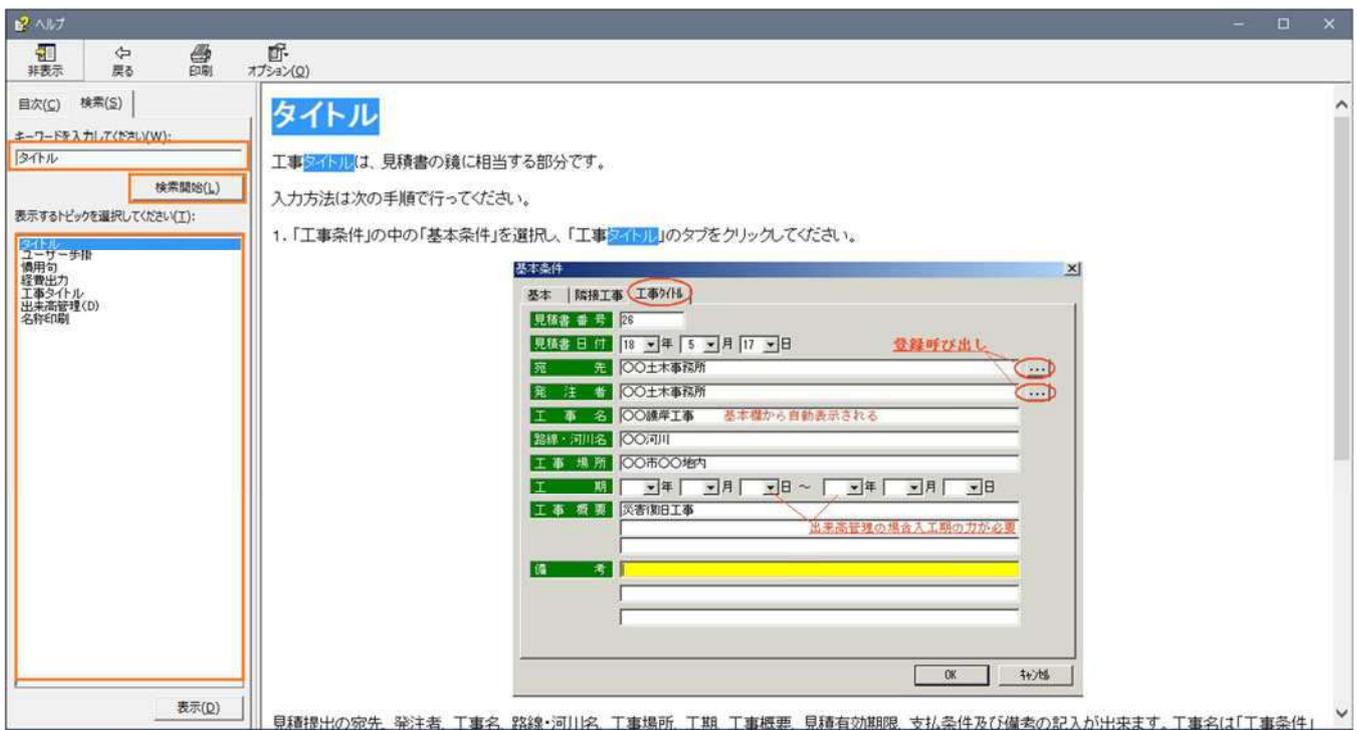
下記ヘルプ画面が表示され、画面左側に目次が表示されますので、参照したい目次の左側端に表示されております⁺の印にマウスを合わせクリックしてください。



選択した目次の説明項目が画面左側に表示されますので、参照したい項目にマウスを合わせクリックすると選択した項目の説明内容が画面右側に表示されます。



また、画面左側に表示されています“検索 (S)” をクリックすると、画面左側に検索ボックスが表示されます。検索したい語句を検索ボックスに入力し、**検索開始 (L)** を押すと、左下のボックス内にキーワード項目が表示されます。参照したいキーワード項目にマウスを合わせクリックすると画面右側に該当項目の説明内容が表示されます。



ヘルプ画面を終了させる場合には画面右上の **X** をクリックして下さい。



15-2. 行の挿入削除

行の挿入削除方法は、挿入の場合、挿入したい行にカーソルを合わせ、画面上部の **挿入** ボタンをクリックしてください。削除の場合は、画面上部の **削除** ボタンをクリックする。

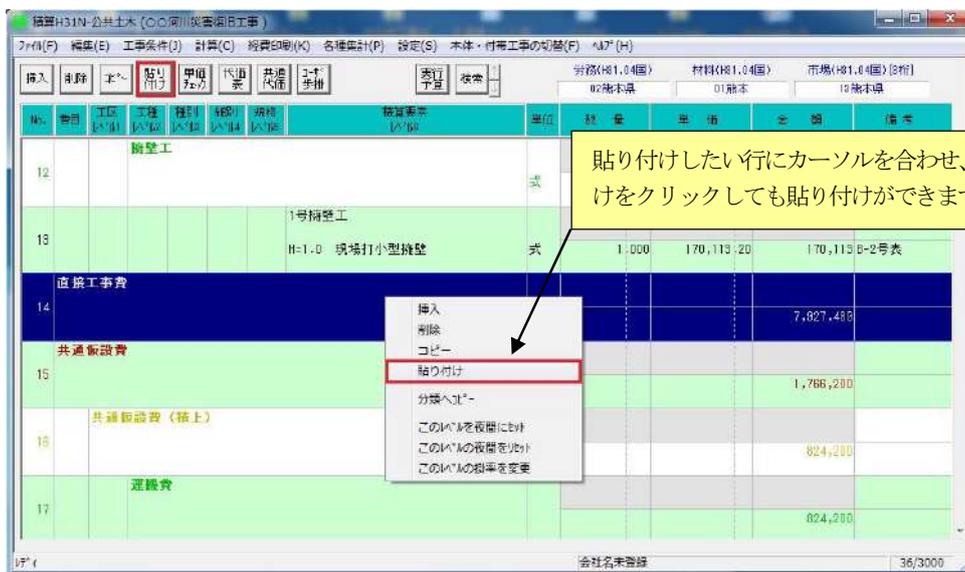


15-3. 行のコピー (複写)

コピーしたい場合には、コピー元の範囲をドラッグ (マウスを右クリックしたまま範囲指定する) し、画面上部の「コピー」ボタンをクリックする、次にコピー先 (先頭行) を指定し画面上部の「貼り付け」ボタンをクリックする。
 注意: ドラッグ以外での範囲指定として「Shift」キー + 矢印キー「↑」又は「↓」が使用できます。



コピーしたい行にカーソルを合わせ、右クリックで、コピーをクリックしてもコピーができます。



貼り付けたい行にカーソルを合わせ、右クリックで、貼り付けをクリックしても貼り付けができます。



No.	書目	工区	工程	種別	種別	種別	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
13							1号擁壁工	式	1.000	170,113.20	170,113.20	B-2号表
14							土砂掘削 チークアウト 押土無し 障害無し 5,000m3未満	m3	480.000	298.50	138,330	S19004
15							直報工事費	式			7,927,488	

15-4. 材料単価の登録

材料単価の登録及び変更は「設定 (S)」の中の「材料単価設定 (Z)」をクリックしてください。



下記画面が表示されます。左画面は分類項目で、大まかな検索をこちらで行い、右画面に登録材料単価が表示されます。登録または変更したい材料コードにマウスを合わせダブルクリックするか Enter を押してください。



【補足説明】

材料単価は、同一の材料名称（同一コード）で、最大48個までのエリア（地区）について異なる単価を登録できます。各エリアには2つの異なる単価（A単価、B単価）を登録できます。2つの単価をそれぞれ登録しておくで登録した単価より最低単価または平均単価を自動的に求めることができます。また、材料単価を各エリアに1つのみ登録した場合には登録した単価が最低単価及び平均単価となります。

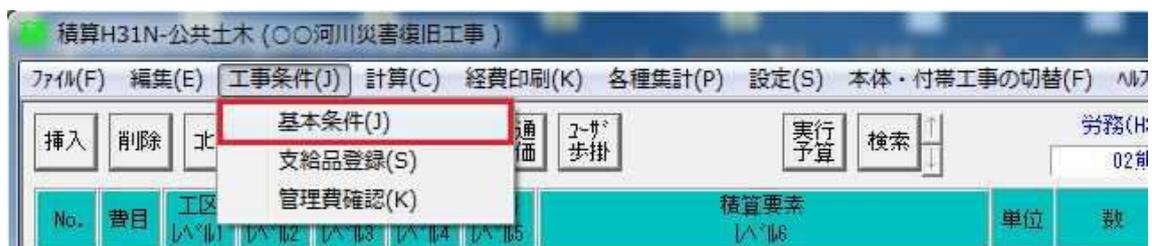
最低単価または平均単価の選択方法は、「工事条件（J）」の中の「基本条件（J）」項目の材料単価の条件で設定できます。システム出荷時のデフォルトは平均単価です。

※ 市場単価の登録方法は、上記にて説明しました材料単価登録の操作手順と同じです。

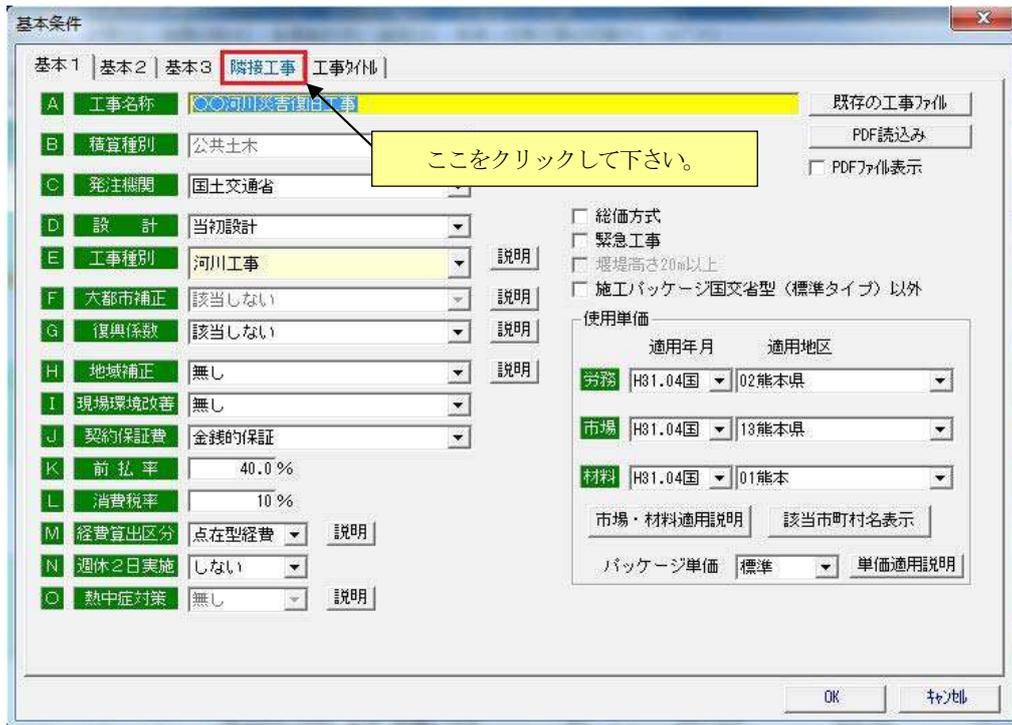
15-5. 隣接工事

隣接工事とは、現場工事の近隣（約1km以内）に新たに工事発注がある場合、間接経費の補正を行います。（同一業者が落札した場合）

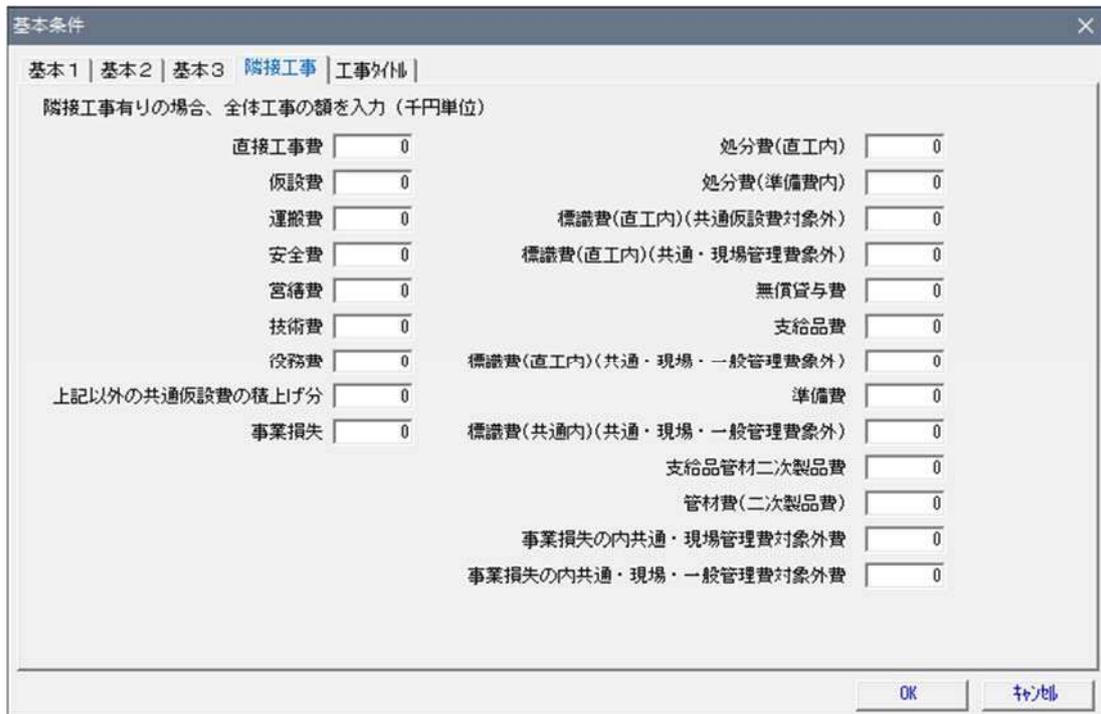
隣接工事による経費率の計算については、「工事条件（J）」の中の「基本条件（J）」をクリックしてください。



次の画面が表示されます。



「隣接工事」を開くと下記画面が表示されますので、全体の直接工事費及び積み上げの仮設費、運搬費等を入力し「OK」ボタンをクリックしてください。



以上の入力で間接経費及び比率は、自動的に計算されます。計算値を確認したい場合には間接費の計算で確認して下さい。

15-6. 計算

計算は、以下の処理を行います。

再計算・・・労務単価、材料単価、市場単価の集計を行うために再計算処理を行います。

また、登録材料単価等の変更を行った場合、積算入力完了時に再計算を行って下さい。

逆計算・・・総工事費または、総工事費の一般管理費率より直接工事を算出する機能です。

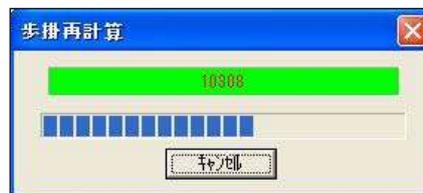
15-6-1. 再計算

再計算は労務単価、材料単価、市場単価の集計を行うためにを行います。

また既に積算を終えている場合または途中で、労務単価、材料単価あるいは市場単価のいずれかを変更した場合に使用して下さい。

直接工事費、共通仮設費の積上げの入力が終了し工事価格を確認したい時は以下の手順を行い、工事価格の確認ができます。操作方法は、次のとおりです。

画面上の「計算 (C)」をクリックすると次の画面が表示されます。



「再計算 (R)」をクリックすると上記の画面が表示され再計算を実行します。(ただし積算もりデータがある場合です。)

No.	費目	工区	工程	種別	細別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
22	純工事費							式			9,693,889	
23	現場管理費							%			8,905,000	千円未満切り捨て
24	工事原価							式			18,598,889	
25	一般管理費							%			2,771,311	2,785,873 - 101調整額= 2,785,872 + 5,489
26	工事価格							式			16,370,000	
27	消費税(10%)							式			1,637,000	
28	合計							式			18,007,000	
29												

※上記画面は直接工事費及び共通仮設費の積上げが終了し、再計算をした場合ですので、ご注意ください。

15-6-2. 逆計算

逆計算は工事費または、一般管理費率より直接工事費を算出する機能です。この機能を利用する場合には、必ず「工事条件(J)」に工事名称及び工種が入力されていなければなりません。逆計算の計算方法には、総工事費より直接工事費を算出する方法と総工事費の一般管理費率より直接工事費を算出する機能があります。

※工事種別の工種が正しく選定されているか注意、基本での設定が逆計算に反映されます。イメージアップ、地域補正等の計上は基本条件の基本で計上してください。

逆計算の算出例として総工事費を入力して直接工事費を算出する方法について説明します。“逆計算画面の総工事費から直接工事を算出します。”と表示している左側のチェック欄にチェックがついていることを確認し、画面の総工事費入力欄に総工事費を入力してください。必要な項目の入力が完了したら「OK」ボタンをクリックしてください。

仮に工種を河川工事で総工事費80,000,000円の場合、直接工事費は次のように出力されます。

工事区分・工種・種別・細別・規格		単位	数量	単価	金額	摘要
直接工事費						
共通仮設費		式	1		49,986,833	
共通仮設費(積上)		式	1		4,672,000	
イメージアップ(有(地方部))		式	1		474,000	
共通仮設費(率分)	$49,986,833 \times 0.95$	%	0.95		474,000	対象額 49,986,833
共通仮設費(率分)	$49,986,833 \times (3.40 + 0.00)$	%	3.40		4,198,000	対象額 49,986,833
純工事費		式	1		54,658,833	
現場管理費	$54,658,833 \times (27.24 + 0.00)$	%	27.24		14,889,000	対象額 54,658,833
工事原価		式	1		69,547,833	
一般管理費	$69,547,833 \times (14.99 \times 1.00 + 0.040) = 10,453,039$	%	15.03		10,452,167	対象額 69,547,833
工事価格		式	1		80,000,000	

直接工事費及び間接経費が表示されます。

結果を隣接工事の全体額へコピーします。

※”結果を隣接工事へコピーします。”へ左図のようにマークを入れれば、計算結果を「工事条件(J)」の「隣接工事」の全体金額に自動で貼り付けします。これにより当該工事を逆計算で求めた直接工事費で率計算します。

一般管理費率から直接工事費を算出します。

管理費率 (%)

※一般管理費率より直接工事費を算出する場合は、左図のように“一般管理費率より直接工事費を算出します”にマークを入れます。一般管理費率欄が入力可能になりますので率を入力してください。以後は、上述と同じ要領です。

※総工事費の間接経費の積上げ分及び、処分費等の金額がおおよそ判明している場合、逆計算画面の「単独工事の場合」ボタンをクリックすると、諸要素の入力が可能となり、より正確な逆計算が可能です。

共通仮設費内訳入力

隣接工事の場合

単独工事の場合

仮設費等入力

仮設費等の額を入力（千円単位）

仮設費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>	処分費(直工内) <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
運搬費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>	処分費(準備費内) <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
安全費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>	標識費(直工内)(共通仮設費対象外) <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
宮積費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>	標識費(直工内)(共通・現場管理費除外) <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
技術費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>	無償貸与費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
役務費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>	支給品費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
上記以外の共通仮設費の積上げ分 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>	標識費(直工内)(共通・現場・一般管理費除外) <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
事業損失 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>	準備費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
	標識費(共通内)(共通・現場・一般管理費除外) <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
	支給品管材二次製品費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
	管材費(二次製品費) <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
	事業損失の内共通・現場管理費対象外費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>
	事業損失の内共通・現場・一般管理費対象外費 <input style="width: 80%;" type="text" value="0"/>

クリックすると、右図の画面が表示されます。

なお、「基本条件（J）」の「基本2」の設定で間接経費に一括経費率分が入力されている場合は、単独及び隣接工事の共通仮設入力はできません。また、一度「単独工事の場合」か「隣接工事の場合」のどちらかを選定したら、以後その工事では選定された項目しか表示されません。

基本条件

全体工事 |

隣接工事有りの場合、全体工事の額を入力（千円単位）

仮設費

「隣接工事の場合」と「単独工事の場合」の違いは、「隣接工事の場合」には左図のように直接工事費（ここでは全体工事分）の入力欄がある画面が表示されます。

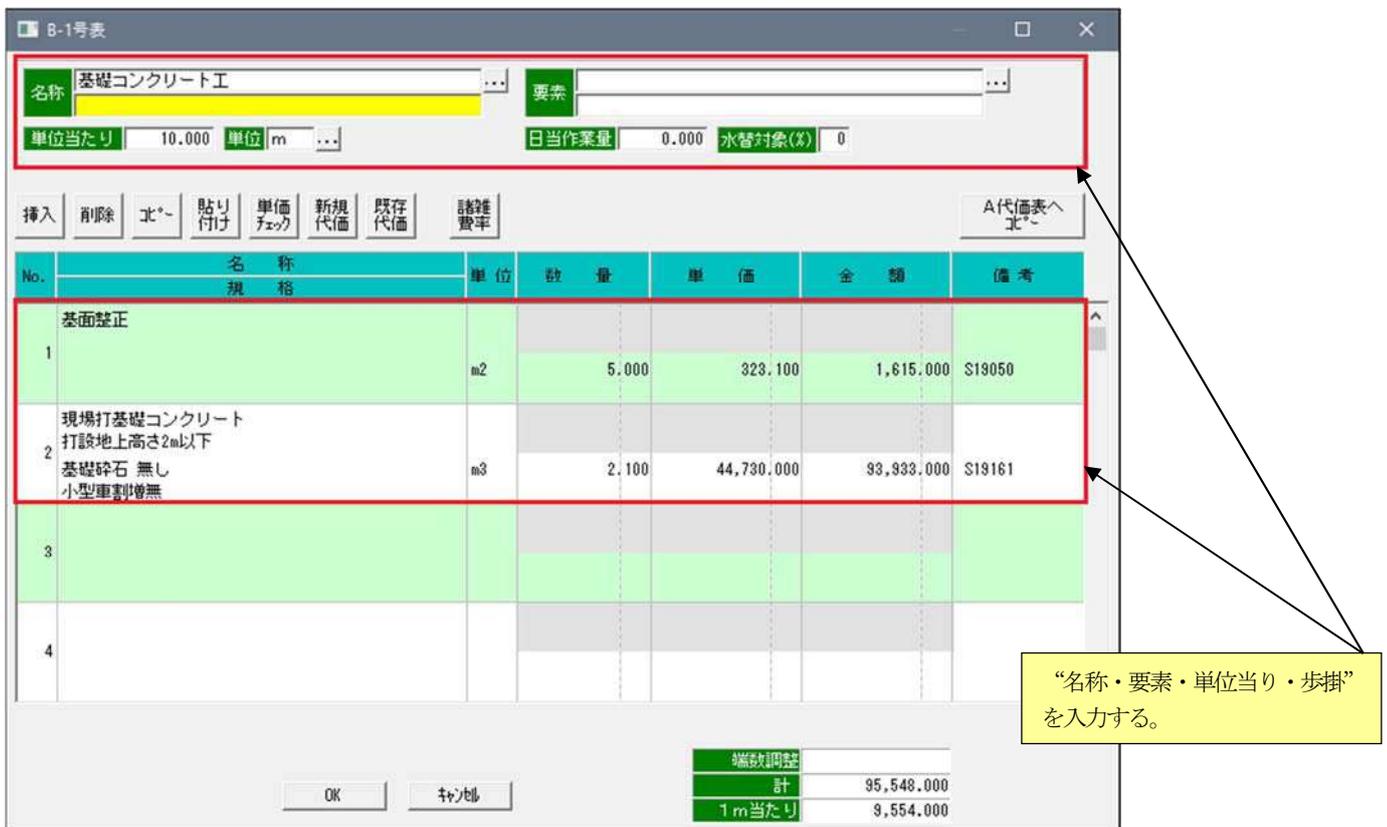
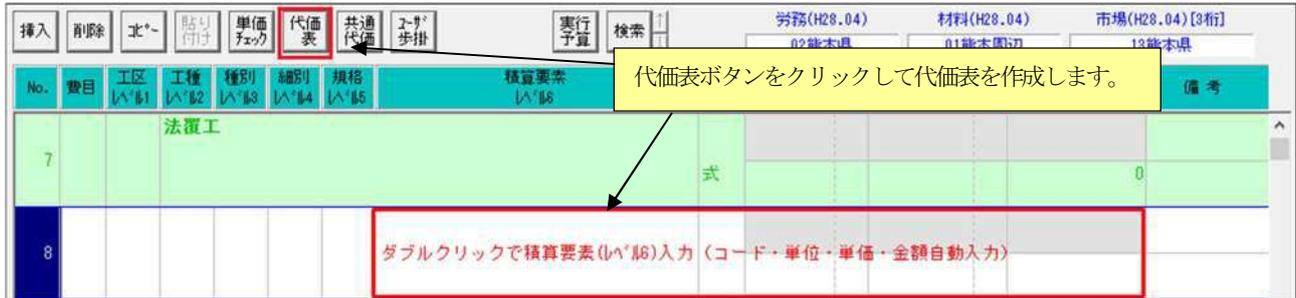
この金額に対し、総工事費（ここではその工事の工事価格分）になる率及び直接工事費を求めます。つまり、隣接工事の場合に入力された金額に対して、率が決められます。その率に対し総工事から直接工事費を求めています。

入力例：総工事費（その工事価格）2千万 隣接工事の直接工事費（全体工事分）に2億として計算した場合です

工事区分・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
直接工事費	式	1		12,910,833	
共通仮設費	式			935,000	
共通仮設費（繰上）	式			101,000	
イマダアツ(有(地方部))	%	0.79		101,000	対象額 200,000,000
共通仮設費（率分）	%	6.46		834,000	対象額 200,000,000
$12,910,833 \times (6.46 + 0.00)$					
純工事費	式	1		14,779,833	
現場管理費	%	20.41		3,016,000	対象額 214,500,000
$14,779,833 \times (20.41 + 0.00)$					
工事原価	式	1		17,795,833	
一般管理費	%	12.39		2,204,167	対象額 258,279,000
$17,795,833 \times (12.35 \times 1.00 + 0.040) = 2,204,903$					
工事価格	式	1		20,000,000	

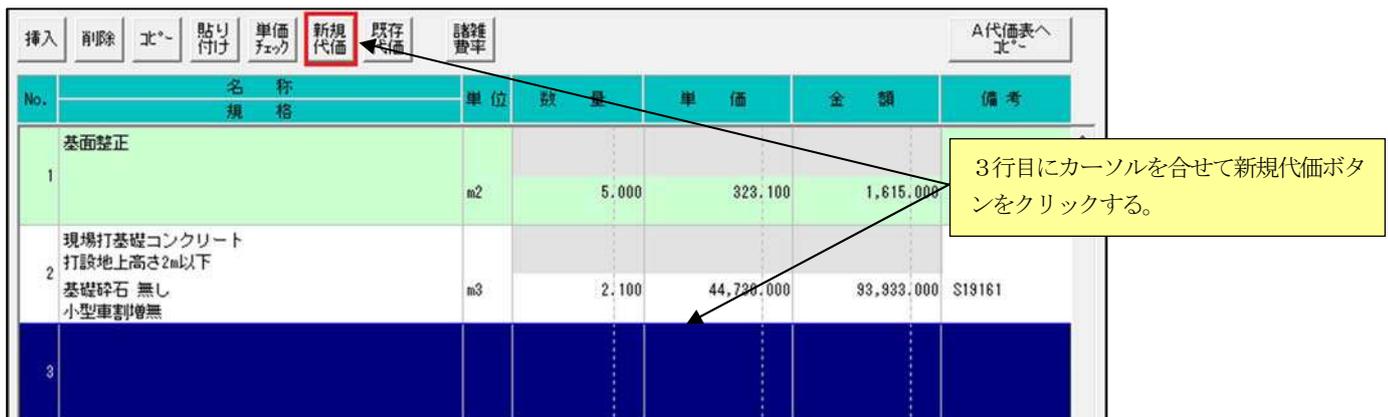
15-7. 代価表(多階層代価表)の作成

- 代価表の中に代価表(多階層代価表)を作成したい時は、まず、“代価表”を作成したい行でツールバーにある“代価表”ボタンをクリックし“名称・要素”単位当り“歩掛”を入力する。

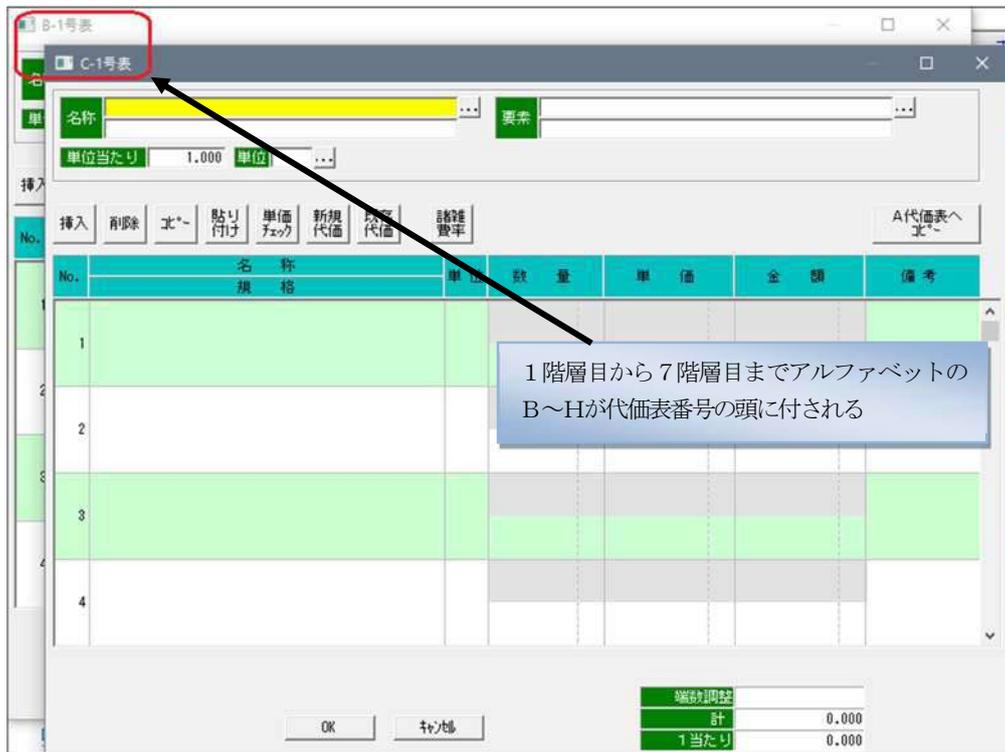


※ここまでの操作は本マニュアルの「6. 代価表作成」(P39~46)で説明した操作です。

多階層代価表を作成したい場合は、3行目(どこでもよいが行は詰まっていなければならない)カーソルを合せて、“新規代価”ボタンをクリックする。



“新規代価” ボタンをクリックすると以下の画面になりますので、“名称・要素・単位当り・歩掛”を入力します。繰り返し多階層に代価表を作成したい場合は“新規代価” ボタンをクリックして代価表を作成してください。



※ 代価表（多階層代価表）は7階層まで作成できます。

なお1階層目の代価表番号には頭に“B”が付されます、2階層目の番号の頭文字は“C”です。3階層目は“D”とアルファベット順に付され、最後の7階層目が“H”となります。

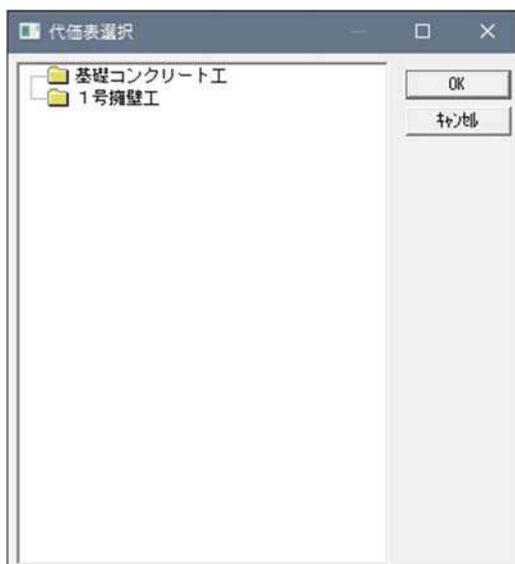
2) 代価表の中別代価表をコピー

代価表の中に別の代価表からコピーしたい場合、次の機能があります。

既存代価表からのコピーとして、代価表の中に「既存代価」ボタンがあります



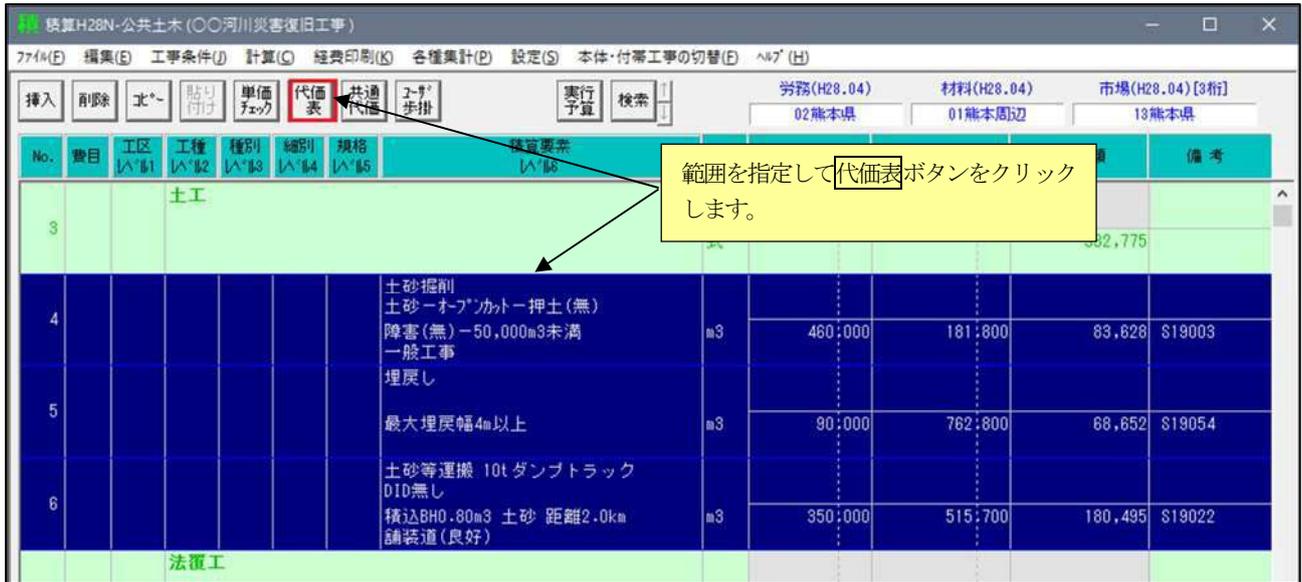
「既存代価」ボタンをクリックする。



左図のように既存の代価表がツリー形式で表示されます。コピーしたい代価表にマウスを合わせてダブルクリックするか「OK」ボタンをクリックして下さい。代価表がコピーされます。

3) 範囲指定して代価表を作成

内訳表にいくつか作成されたコードをまとめて一つの代価表にすることができます。
 マウス（範囲微調整は「shift」キー+↓で行うと便利）で範囲を指定して、画面上の「代価表」をクリックすると、指定された部分は一つの代価表になります。この機能には、代価表を含んでいてもかまいません。ただし、階層が7階層ですのでその範囲内でご利用ください。下記画面は3行を1つの代価表とするため範囲を指定した場合です。



下記画面は「代価表」をクリックした場合です。



下記画面は代価表をOKして内訳表に戻った場合です。

No.	費目	工区	工種	種別	細別	規格	数量	単価	金額	備考
4						土砂掘削 障害(無)-50,000m3未満	m3	1.000	332,775.000	332,775 B-1号表
法覆工										

- 4) 代価表展開は作成した代価表をバラします。なお、この機能は代価表の中では使用できません。
 代価表を展開する場合、その代価表にマウスを当て右クリックします。下記画面が表示されます。

4					土砂掘削 障害(無)ー50,000m3未満				1,000	332,775.000	332,775	B-1号表
5					法覆工						6,083,780	
6					基礎コンクリート工				0.000	9,554.000	382,160	B-2号表

代価表展開をクリックして下さい。
 次のように展開されます。

- (1) B代価表のみの場合

空の代価表とそこにあったコードが、内訳表に表示されます。

No.	費目	工区	工種	種別	細別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
3			土工					式			332,775	
4							掘削 障害(無)ー50,000m3未満	m3	1.000	0.000		0 B-1号表
5							掘削 土砂ーオープンカットー押土(無) 障害(無)ー50,000m3未満 一般工事	m3	460.000	181.800	83,628	S19003
6							埋戻し 最大埋戻幅4m以上	m3	90.000	782.800	68,652	S19054
7							土砂等運搬 10tダンプトラック DID無し 積込BHD.80m3 土砂 距離2.0km 舗装道(良好)	m3	350.000	515.700	180,495	S19022

- (2) B代価表の中にコードとC代価表及びそれ以下の階層がある場合。

空の代価表とそこにあったコードが内訳表に表示され、C代価表はB代価表に、それ以下の代価表も1階層上位に繰り上がります。

他の階層で代価表展開を行なった場合上記の記述と同じ要領になります、ただし展開を実施した階層にコードは表示され、それ以下のコードは1階層上位に繰り上がります。

15-8. 変更積算の作成

まず、変更する積算ファイルを既存工事ファイルより開く。

No.	費目	工区	工種	種別	細別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
1	本工事費							式			6,588,655	
2	染堤・護岸							式			6,588,655	
3	土工							式			332,775	
4						土砂掘削 土砂オープンカッター押土(無) 障害(無)-50,000m3未満 一般工事		m3	460.000	181.800	83,628	S19003
5						埋戻し 最大埋戻幅4m以上		m3	90.000	762.800	68,652	S19054
6						土砂等運搬 10tダンプトラック D10無し 積込BH0.80m3 土砂 距離2.0km 舗装道(良好)		m3	350.000	515.700	180,495	S19022

“工事条件” から“基本条件” 設定に入る。



基本条件

基本1 | 基本2 | 基本3 | 階接工事 | 工事外係 |

A 工事名称: ○○河川災害復旧工事 (既存の工事ファイル)

B 積算種別: 公共土木 (PDF読み込み)

C 発注機関: 県・市町村

D 設計: 当初設計

E 工事種別: 河川工事 (説明)

F 大都市補正: 該当しない (説明)

G 市街地補正: 該当しない (説明)

H 地域補正: 無し (説明)

I ターゲッアップ: 有(地方部)

J 契約保証費: 金銭的保証

K 前払率: 40.0%

L 消費税率: 8%

M 経費算出区分: 合算経費 (説明)

総価方式 緊急工事 経費率29年分適用

堰堤高さ20m以上

使用単価

適用年月: 労務 H28.04 適用地区: 02熊本県

市場: H28.04 13熊本県

材料: H28.04 01熊本周辺

市場・材料適用説明: 該当市町村名表示

パッケージ単価: 標準 (単価適用説明)

OK キャンセル

“基本条件” 設定の画面右上の設計のダウンボタンをクリックする。下記画面が出るので“第一回変更”に合せる。

基本条件

基本1 | 基本2 | 基本3 | 隣接工事 | 工事タイプ

A 工事名称 ○○河川災害復旧工事 既存の工事ファイル

B 積算種別 公共土木 PDF読み込み

C 発注機関 県・市町村

D 設計 当初設計

E 工事種別 当初設計 第一回変更

F 大都市補正 該当しない 説明

G 市街地補正 該当しない 説明

H 地域補正 無し 説明

I ｲｰｼﾞｱｯﾌﾟ 有(地方部)

J 契約保証費 金銭的保証

K 前払率 40.0%

L 消費税率 8%

M 経費算出区分 合算経費 説明

総価方式
緊急工事
埋設高さ20m以上

使用単価

適用年月 適用地区

労務 H28.04 02熊本県

市場 H28.04 13熊本県

材料 H28.04 01熊本周辺

市場・材料適用説明 該当市町村名表示

パッケージ単価 標準 単価適用説明

OK キャンセル

下記内訳書入力画面になり、当初の“数量・単価・金額”が上段上に上がり、下段が変更設計になります。

No.	費目	工区	工種	種別	細別	規格	積算要素	単位	数量	単価	金額	備考
1	本工事費							式			6,568,855	
2	築堤・護岸							式			6,568,855	
3	土工							式			332,775	
4						土砂掘削 土砂一オフカットー押土(無) 障害(無)ー50,000m3未満 一般工事		m3	460.000	181.800	83,628	S19003
5						埋戻し 最大埋戻幅4m以上		m3	90.000	762.800	68,652	S19054
6						土砂等運搬 10t ダンプトラック D1D無し 積込8H0.80m3 土砂 距離2.0km 舗装道(良好)		m3	350.000	515.700	180,495	S19022

※ 新規工種等がある場合は、挿入してください。

15-9. 水替え日数算定

水替え日数の算定ができます。入力方法は下記のとおりです。

1. 歩掛コードの「水替え対象」欄に水替えの対象となる数量の割合を%単位で入力します

水替え対象数量＝設計数量×水替え対象率となります。

水替え日数＝水替え対象数量÷日作業量として計算されます。

歩掛単価

コード 19003 掘削 (施工パッケージ型) コード参照

数量 480.000 条件10個 歩掛変更 公共土木

水替え対象率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し

労務書増 夜間 夜間 その他 0% 労務説明

調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0

水替え対象 0%

掛率 1.000 全体掛率適用しない 機械単価 (短期)

説明 (※ 右側に数値がある場合、ダブルクリックすると条件へ入力されます。)

このコードはH25年10月以降に適用します。
 数量はm3単位で入力してください。
 H25年11月 エラー表示した場合、単価チェックで入力ミスした条件を表示するよう修正。(入力ミス箇所は全て表示できていません。)
 H26年10月 基準日作業量追加。岩類は岩石機械損料割増を考慮しないよう修正
 H28年06月 ICT積算要領追加

条件	J0	0	土砂	J9		一般積算
	J1	0	オフカット			
	J2	0	該当なし			
	J3	1	押土(無)			
	J4	0	障害(無)			
	J5	2	50,000m3未満			
	J6		火薬(不可)			
	J7		破砕除去(無)			
	J8		集積押土(無)			

入力完了 キャンセル

※拡大図

水替え対象率 0% 0.0 h 前年労務 諸雑費無し

労務書増 夜間 夜間 その他 0% 労務説明

調整係数 0.000 超過時間 J1 0.0 J2 0.0

水替え対象 0%

掛率 1.000 全体掛率適用しない 機械単価 (短期)

2. 代価表の場合の水替え対象入力方法

代価表の場合は、各歩掛コードで水替え対象を入力すると歩掛コードごとの水替え日数が累計されます。

また、水替え日数算定表を積算システムで参照した時、その日作業量は表示されません。

悪い例：250mのコンクリート基礎で10m当りコンクリート1.9m³と型枠1.2m²を計上した場合

(※注意：現在は現場打基礎・天端コンクリート工で計上する)

積算システムで代価表全体での水替え日数は以下のように計算されます。

コンクリート打設部

$$1.9 \div 5m^3 \text{ (日作業量)} \div 10m \text{ (単位当り)} \times 250m \text{ (数量)} = 9.50 \text{ 日}$$

型枠部

$$12 \div 15m^2 \text{ (日作業量)} \div 10m \text{ (単位当り)} \times 250m \text{ (数量)} = 20.0 \text{ 日}$$

合計

$$9.50 + 20.0 = 29.5 \text{ 日とします (誤りです)}$$

実際の積算ではコンクリート基礎の日作業量は20mです。
 このような場合、代価表の日作業量と水替え対象をB-1号表で入力してください。
 ※下記画面参照

なお、代価表に日作業量と水替え対象入力欄が表示されるのはB代価表のみです
 C～H代価表及び共通代価表には表示されません。共通代価表がB代価表と同じ階層に使用されている場合、共通代価表をB代価表へ変換して使用できます

3. 水替え日数をまとめた一覧表を参照するには次の要領で表示してください。

- 1) 内訳画面に直接工事費が入力された状態にする。
- 2) 経費確認 (K) 中の「水替え日数算定表 (M)」をクリックする。

- 3) 各コード及びB代価表で指定された項目の合計が最下段に表示される
下記画面参照

水 替 日 数 算 定 表 (参 考)

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別 ・ 規 格	単 位	設 計 数 量	日 作 業 量	水 替 日 数	摘 要
アop外構(市場準面)材工共 作業時間制限無 夜間作業無 100m以上 表込コ無 開込Co量標準	m ²	240,000	11.00	21.82	単3号S18154-1
擁壁工	式	1		0.05	
1号擁壁工 H=1.0	式	1			B-1号表
コンクリート基礎	m	1,000	20.00	0.05	B-2号表
共通仮設費	式	1			
共通仮設費(橋上)	式	1			
運搬費	式	1			
建設重機分解組立運搬 端数整理(固定省型有効数字4桁) 加圧ル-油圧リフト・ラジアル式50~55t	回	1,000			単12号S70001-1
合計				23.40	

- 2 -

会社名未登録

15-10. 最低価格シミュレーション

「経費印刷(K)」から「最低価格シミュレーション(S)」を選択。



The dialog box '最低価格シミュレーション' displays the following data:

積算状況	現在見積価格(円)	低入札掛率%入力	低入札価格
直接工事費	6,568,000	× 95.0 =	6,239,600
共通仮設費計	1,238,400	× 90.0 =	1,114,560
純工事費	7,806,400		7,354,160
現場管理費	1,593,000	× 90.0 =	1,433,700
工事原価	9,399,400		8,787,860
一般管理費	1,163,600	× 55.0 =	639,980
工事価格	10,563,000		9,427,840
県工事補正值	9,427,840	× 100.0 =	9,427,840

Below the table, there are sections for '標準値の場合' and '標準低入札額に係数を乗じた場合(ランダム係数相当)'. The '標準低入札額' is 9,427,840 and the '最低価格率' is 89.25%. The '標準低入札額に係数を乗じた場合' shows a range from 9,980,000 to 10,300,000 with a '決定低入札額' of 9,427,840 and a '最低価格率' of 89.25%.

左図の画面が表示されるので、項目ごとに低入札率を入力し、最低価格を算出する。

15-11. 工場製作工の入力方法

工場製作工が内訳表にある場合の間接経費自動計算を追加

- 「工場製作工」が工区（レベル1）～規格（レベル5）に入力されている場合、直接工事費の行の前に純工事費（工場）、工場管理費及び工場原価を自動挿入します。

なお、対象としない材料は「工場管理費対象外」を入力してください※下記2）参照

下図は工場製作工を工種（レベル2）に入力した場合。

No.	費目	工区 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4	規格 レベル5	積算要素 レベル6	単位	数量	単価	金額
8	橋梁上部							式			12,085,171
9	工場製作工							式			9,231,198
10	桁製作工							式			9,178,026
11	製作加工							式			5,338,000
12	製作直接労務費 間接労務費有							式	1.000	1,402,000.00	1,402,000
13	製作直接労務費 間接労務費有							式	1.000	3,936,000.00	3,936,000

入力後、経費印刷または再計算すると純工事費（工場）工場管理費及び工場原価が自動挿入されて、金額が表示される。



出力結果

工事区分・工種・種別	
雑工	
人工張土工	
人工芝類 張芝幅50*100cm 初付	
純工事費（工場）	
工場管理費	純工事費（工場）～工場原価が直接工事費の前に自動挿入される
工場原価	
直接工事費	
共通仮設費	
共通仮設費	

「工場製作工」の他に「鋼橋架設工」が入力されている場合、間接経費の工事原価の直前に「架設工事原価」が挿入されます。

※注意：工場製作工がある場合、逆計算はできません。

- 工場製作の材料費（塗装材料は除く）は、工場管理費の対象になりません、工場管理費の対象外にするには、「工場管理費対象外」と工区（レベル1）～規格（レベル5）欄の2段目（2段書きの場合）または3段目（4段書きの場合）に入力してください

2段書きの場合

1段目	材料費（本体）	2段書きの場合、2段目に入力				
2段目	工場管理費対象外		式	この金額が対象外になる		2,848,111
	鋼板SMA490AW		t	4.910	184,500.00	905,895
	3.2・4.5×定尺					
	H鋼単価		t	11.550	167,500.00	1,934,625
	鋼橋材料費		t	0.063	120,500.00	7,591
	FB-50×9 SS400					
	工場塗装工		式			991,915

※この合計金額が集計されます。

4段書きの場合

1段目	材料費（本体）	4段書きの場合
2段目		3段目に入力
3段目	工場管理費対象外	
4段目		
	鋼板SMA490AW	
	t ≤ 50mm	
	3.2・4.5×定尺	

15-12. PDF 読込方法

PDF 読込機能は発注機関より PDF に変換された設計データを読み込み、費目、工種、規格、設計数量等をそのまま、積算システムに取り込みます、これにより時間の大幅短縮、数量の入力ミスの解消ができます。

1. PDF 読込時の注意

- 1) PDF 設計書を、他のアプリケーションが開いている場合読み込むことができません。
- 2) スキャナー等で読み込まれた PDF 設計書 (画像データ) は読み込むことができません。

2. PDF 設計データ読み込み手順は以下のとおりです。

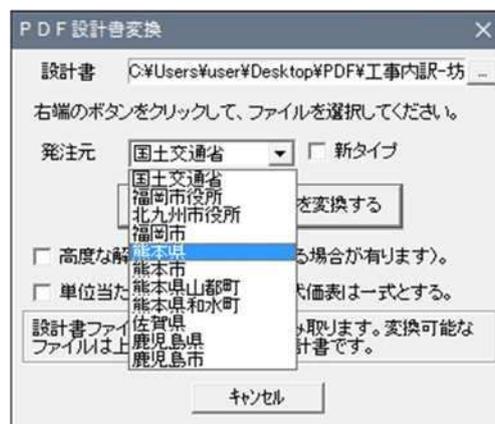
- 1) 積算システムを起動します。
- 2) 基本1のPDF読込みをクリックします。



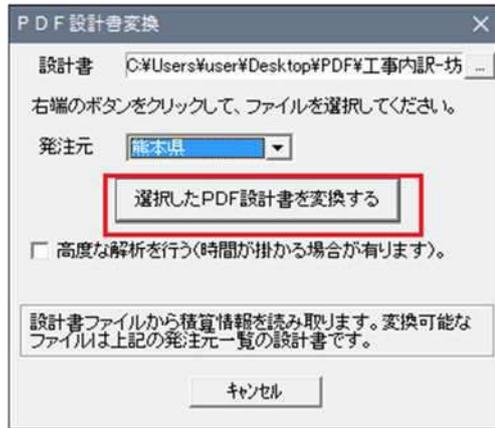
- 3) 設計書PDFデータを選択し、
「開く」をクリックします。
(他のアプリケーションで該当するPDFを開いていると読込めませんので注意してください。)



- 4) 発注元を選択します。



5) 発注元の選択を行った後、**選択したPDFファイルを変換する**をクリックします。



6) 下記の画面が表示されますので、OKボタンを押して次に進んでください。



7) 工事条件の基本1が表示されます。工事名称、工事種別等の各項目を入力した後、OKボタンを押して次へ進んでください。



15-14. 代価表内諸雑费率計上方法

代価表に諸雑費を計上

代価表または共通代価表に諸雑費を計上する場合、次の例に従ってください。
ただし、諸雑费率は1代価表に対し1箇所しか計上できません。

例：人力〇〇工10m当り
 土木一般世話役 0.5人
 特殊作業員 1.0人
 普通作業員 4.0人
 諸雑費 5.0%（労務費に対する）

1. 上記例の場合、まず労務単価を労務コードで入力します。
2. 次に諸雑費を計上したい行にマウスを合わせ「諸雑费率」ボタンをクリックします（下記画面参照）

No.	名称 規格	単位	数量	単価	金額	備考
1	労務費 屋間 土木一般世話役	人	0.500	19,700,000	9,850,000	S18010
2	労務費 屋間 特殊作業員	人	1.000	18,200,000	18,200,000	S18010
3	労務費 屋間 普通作業員	人	4.000	15,900,000	63,600,000	S18010
4						

3. 諸雑费率とその率をどれに乘じるか範囲を指定します。範囲は上記代価表画面の左端No欄の数字を入力します（下図参照）

4. 上記画面のOKをクリックすると下図のように諸雑費率が計上されます。

No.	名称 規格	単位	数量	単価	金額	備考
* 1	労務費 屋間 土木一般世話役	人	0.500	19,700,000	9,850,000	S18010
* 2	労務費 屋間 特殊作業員	人	1.000	18,200,000	18,200,000	S18010
* 3	労務費 屋間 普通作業員	人	4.000	15,900,000	63,600,000	S18010
4	諸雑費	%	5.000	91,650,000	4,582,000	SZAPPI

端数調整	
計	96,232,000
1m当たり	9,623,000

15-15. デキスパート変換方法

積算したデータをデキスパートのデータに変換できます。

なお、デキスパートKSDXファイルにするには予め再計算を行ってください。

「経費印刷 (K)」をクリックし、「デキスパートKSDXファイル出力 (K)」を選定します。



デキスパートデータにファイル名を付けて保存します。デフォルトでは工事名に拡張子KSDXを付けた状態で待ち受けます。このファイル名でよければ保存してください。

